

九州地区大学図書館協議会誌

第 62 号

2019

九州地区大学図書館協議会

目 次

【巻 頭 言】	
図書館をめぐる「モノ」「ヒト」そして「コト」・・・・・・・・・・中 尾 泰 士・・・	1
【寄 稿 論 文】	
第9回大学図書館学生協働交流シンポジウム参加報告・・・・・・・・西垂水 暖 奈・・・	4
【図 書 館 紹 介】	
該当館無し	
【加盟館ニュース】	8
【図書館活動報告】	24
【事務局報告】	36
【協議会総会記録】	38
【資 料】	
九州地区大学図書館協議会会則	49
九州地区大学図書館協議会総会運営に関する細則	50
九州地区大学図書館協議会入会に関する細則	51
九州地区大学図書館協議会誌編集に関する内規	55
九州地区大学図書館協議会表彰規程	55
研修会の補助に関する申合せ	60
副幹事館の役割	62
九州地区大学図書館協議会ホームページの運用について	62
加盟館一覧	64
役員館一覧	68
総会当番館一覧	72

図書館をめぐる「モノ」「ヒト」そして「コト」

北九州市立大学図書館長 中尾泰士

はじめに

現在、大学図書館をめぐる環境が大きく変化してきていることは改めて言うまでもない [1]。本学図書館もこの変化に対応すべく努力を続けているところである。

図書館を構成する物理的なものは「モノ」「ヒト」である。「モノ」とはすなわち、蔵書をはじめとする図書館資料、建物、机などの設備であり、「ヒト」は図書館職員をはじめとするサービス提供側の人員と利用者たちとなる。この「モノ」と「ヒト」が図書館空間を形作ることになる。

当然ながら、図書館に「モノ」や「ヒト」を用意し、サービスを提供するためには費

用がかかる。幸いにも、建物としての本学図書館は2016年度に新築された。その館内にはラーニングコモンズ設備も充実し、学生や教職員からも歓迎されている。

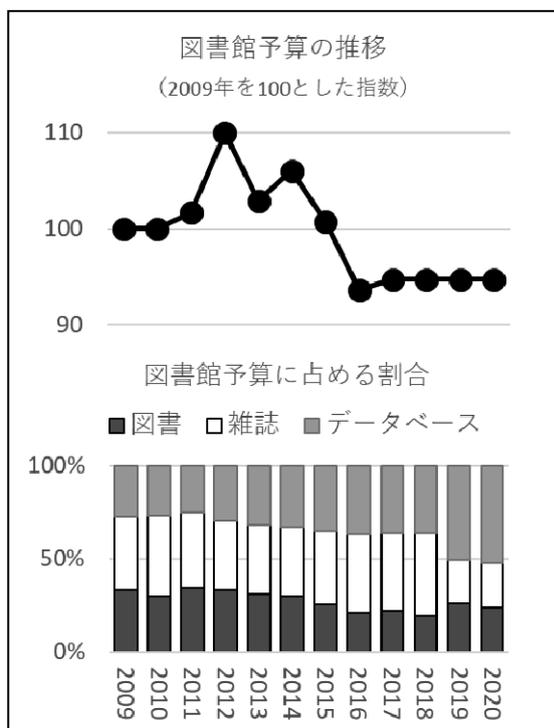
一方、図書館資料の整備については、従来から適切な資料収集に努力してきてはいるものの、近年、他の大学同様に予算面から大変苦勞しているのが実際である [2]。

本学の図書館長は副学長の一人が兼務する体制をとっているが、その副学長は、学長が主宰する大学全体の予算編成方針を検討する会議のメンバーであるため、その場において図書館予算の充実を直接訴えることができるようにはなっている。しかしながら、大学全体の財政状況は必ずしも余裕があるわけではなく、現状、図書館予算は削減を免れるのが精一杯である (図1上)。

結果として、洋雑誌の高騰、データベース利用費用の負担が響き、学生用の図書購入が圧迫されるようになっていた (図1下)。

これらの状況や大学教育における図書館の重要性については、学長や事務局長を通じて本学同窓会と後援会にご理解いただくことができ、2018年度からは両者から学生用図書購入費の補助をいただけるようになっている。これは3年間の時限的な措置ではあるが、洋雑誌高騰や消費税増税などからくる図書購入予算の逼迫状況に対して、ありがたいご支援になっている。この場をお借りして、本学同窓会・後援会の皆様には感謝申し上げたい。

「ヒト」の一部を構成する図書館職員にもさまざまな努力をしてもらって、学生を



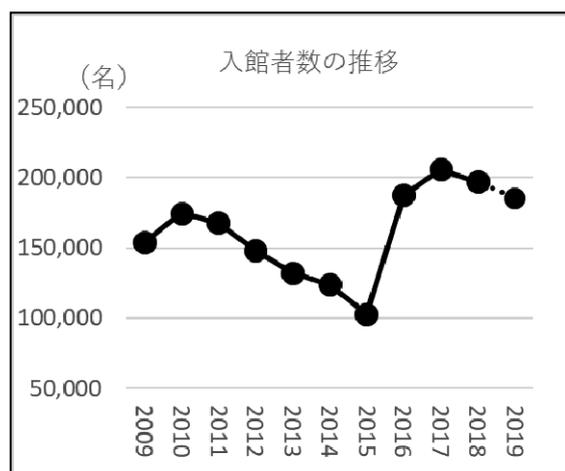
(図1) 上段：北九州市立大学図書館予算の推移。2009年を100とした指数。下段：図書館予算に占める各種資料の割合の推移。

はじめとする利用者へのサービス充実に努めているところである。今後とも、職員には各種研修への積極的な参加を促し、情報リテラシーを含めた図書館職員としての能力向上に期待していきたい。

「コト」づくり

さて、このような「モノ」と「ヒト」を用意して、静かに来館者を待っているだけでは、現在の図書館は十分な機能を発揮することはできない。

現在、図書館の最大のライバルはインターネット空間である。学生たちは自らが持つ携帯端末から膨大な量の情報に手軽にアクセスできるようになっている。かつてのような、情報を求めて図書館に行くという必然性が薄れているのである。



(図2) 北九州市立大学図書館学生入館者数の推移。2019年は4月～11月の数値から推計。

実際、本学図書館の来館者数は、2016年に新築された図書館に設置されたラーニングコモンズ空間の効果もあって、2016年に大幅な増加を示したが、近年は漸減傾向である(図2)。学生たちの足を図書館に向かわせる仕掛け、いわば「コト」づくりの必要性を感じている。

もちろん、ラーニングコモンズをはじめとする図書館内空間は、多くの授業で利用さ

れており、学生同士のグループ学習にも活発に利用されている。しかし、これらは必ずしも図書館で行われる必然性が強くないものも多い。図書館としては、蔵書をはじめとする資料と、授業や学生の学習が有機的なつながりを持っていて欲しい。

これらの問題意識から、現在、図書館としてはラーニングコモンズ空間における資料配架方法の再検討を行っている。学生が多く利用するラーニングコモンズ空間に、授業に関連した書籍のコーナーや、資格取得・語学学習に役立つ資料のコーナーを設置するなど、学生の目に触れやすい資料の配架方法を工夫して、「図書館で学習する」という行為の有用性に気づいて欲しいと考えている。

図書館サポーター活動を通じた教育

これまでも図書館職員は「データベース講習会」などを定期的に関き、学生に対する教育活動の一翼を担ってきている。また今後は、学生のレポート作成能力向上のためのライティングサポートの提供や、図書館独自の講演会なども計画しているところである。

それらのなかでも、図書館長として職員たちの努力に感謝していることは、学生たちからなる「図書館サポーター」の活動支援についてである。2019年現在、この図書館サポーターは20名ほどが活動しており、ボランティアで図書館の活動をサポートしてもらっている。彼らは、(1) 図書館が定期的に発行している「図書館だより」を編集する「だより班」、(2) 読書に関連するグッズを作成する「グッズ班」、(3) オープンキャンパスなどの時に図書館で行うイベントを企画する「イベント班」、(4) 図書館ギャラリーや特別配架コーナーの展示を担当する「展示班」の4つに分かれて活動してくれている。

例えば、「グッズ班」は図書館の利用案内を兼ねたカルタの作成を行うなど、ユニークなグッズを制作してくれた。「イベント班」はオープンキャンパス時の来館者向けに図書館内を巡りながら謎を解いていくゲームを企画するなど、学生ならではの視点で図書館の紹介を行ってくれている。「展示班」が2018年の「Library Lovers' キャンペーン期間」に展示してくれた宮沢賢治の作品世界のジオラマ展示は実に見事なものであった。

近隣の九州工業大学の図書館サポーターとの交流も始めている。2018年は、本学の学生が書籍紹介のためのポップ作成方法を、九州工業大学の学生は「伝わる」プレゼンテーションの作成方法をお互いに教えあうなど、それぞれが得意とする分野を通じた有意義な交流が行われている。2019年は、本学で定着しているビブリオバトル開催のノウハウを九州工業大学に伝授する交流を行ったようである。

このように、図書館サポーターたちは図書館空間の充実のために、さまざまな活動を行ってくれている。そして、それを可能にしているのは、通常業務の合間を使って学生たちを指導してくれている図書館職員のおかげである。職員たちが学生の成長に大きく貢献していることを実感している。

おわりに

リアルな空間に存在する物理的な実体としての図書館は、これからは「モノ」と「ヒト」を配置して終わりではなく、積極的に「コト」を起こして来館者を確保していかなければならない。図書館空間を媒介としてヒトとヒトがつながり、新たな情報がそこから発信されている場を提供する存在になる必要がある。

本学の新図書館を設計した赤川貴雄教授は、その設計意図として、「見る・見られる」

関係から学生たちに学習意欲を喚起させるということを挙げられていた。

その設計意図に命を吹き込むためには、図書館にヒトが集まる工夫が必要である。われわれ図書館サービス提供側も、従来の考え方をアップデートして、図書館空間における「コト」づくりに本格的に取り組む必要があると考えている。

参考文献

- [1] 「大学図書館の整備について（審議のまとめ）－変革する大学にあって求められる大学図書館像－」（2010年），科学技術・学術審議会 学術分科会 研究環境基盤部会 学術情報基盤作業部会，文部科学省
https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu4/toushin/1301602.htm,
(2019-12-12 アクセス)
- [2] 「大学図書館の現状と課題」（2017年），京都大学附属図書館 米澤誠，
<https://www.nii.ac.jp/hrd/ja/librarian/h29/lib-01k.pdf>,
(2019-12-12 アクセス)

【第9回大学図書館学生協働交流シンポジウム参加報告】

鹿児島大学附属図書館

西垂水 暖奈

はじめに

9月5日(木)、9月6日(金)の2日間にわたり、島根大学松江キャンパスにおいて「大学図書館学生協働交流シンポジウム」¹⁾が開催された。本学からは、図書館職員1名と図書館学生サポーター3名が参加した。本稿はそのシンポジウム参加報告である。

このシンポジウムは、大学図書館でさまざまな活動を行っている学生が全国から集まり、他団体と交流を行うことを目的としており、今年で第9回目を数える。今回の参加大学は24校、参加者は116名(28団体)であった。

(1) シンポジウム参加の背景

鹿児島大学附属図書館中央図書館では、学生協働による学生の視点からの図書館サービス改善を目的として、平成27年度から学生ボランティア(=図書館サポーター)を配置している。主な活動は、自主企画イベントの実施・図書館企画への参加や広報協力、利用者の支援等である。

他大学団体との交流を通して、お互いが抱える課題の共有と解決のヒントを得るため、本学では2015年から毎年このシンポジウムに参加している。

(2) ポスターセッション

1日目のポスターセッションでは、各大学の活動紹介が行われた。参加学生はそれぞれ「団体の形態」「メンバーの選考方法」「特徴ある活動」等を紹介し、参加者からの質問に答えた。会場では学生だけでなく職員も興味のあるポスターの前で熱心に説明を聞いていた。

特に目を引いた活動としては、SNS上で使用できるオリジナルスタンプの販売や、地域住民との交流イベント、合同読書会や読み聞かせ会などであった。メンバーの選考方法についても各大学独自の方針があり、図書館でのアルバイト経験が2年以上ある者のみとする大学もあった。

シンポジウムに参加した団体の形態はさまざまである。本学のようなボランティア団体やアルバイト、サークル、読書会などの形態で学生が図書館と連携していた。ポスターセッションではそれぞれの視点から図書館の可能性について語られていたように感じた。本学の学生も多くのアイデアを吸収できたようだった。



(写真1) 1日目ポスターセッションの様子

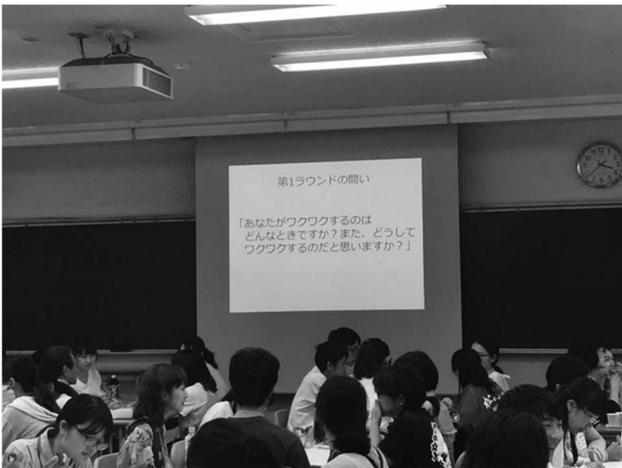
(3) ワールド・カフェ

ワールド・カフェでは「ワクワクする図書館をつくるために、あなたは何をしますか？」をテーマに実施された。「ワールド・カフェとは、メンバーの組み合わせを替えながら、4~5人単位の小グ

グループで話し合いを続けることにより、あたかも参加者全員が話し合っているような効果が得られる会話の手法²⁾である。各ラウンドで設けられる問いは、抽象的なものから徐々に具体的なものになり、自分がやってみたい図書館のイベントを企画するところで終了となった。

シンポジウムの担当者に話を聞くと、今回のワールド・カフェは、教員を交えて企画に1年ほど掛けたとのことである。時間を区切る方法や、各ラウンドで提示される質問、使用する小道具など、随所に議論を深めていく工夫が施されていた。

ワールド・カフェは、途中で数回メンバーを入れ替えるため、多数の目を通して自分のアイデアの改善点やその解決に早く気づくことが出来る。初めてワールド・カフェを体験したが、一人で悶々と悩むよりずいぶん効率よくアイデアが膨らんでいくことを実感できた。機会を作って、本学図書館サポーターもワールド・カフェを企画してみたい。



(写真2) 1日目ワールド・カフェの様子

(4) 図書館自由見学

交流会が始まるまでの間、島根大学附属図書館の自由見学の時間が設けられた。参加者は図書館内を自由に見学した。3階建ての建物は、各フロアとも交流ゾーン・学習ゾーン・研究ゾーンと目的別に分けられていた。研究ゾーンや学習ゾーンには利用者が集中できる環境が整い、交流ゾーン

にはグループ学習室やラーニングcommons、交流ラウンジ等が配置されていた。

見学に参加した本学の学生に印象に残った点を尋ねると、入口付近のサイネージや手書きのホワイトボードが良かったという。サイネージには新着図書の情報流れ、ホワイトボードには手書きで図書館からのお知らせが書かれていた。一目で図書館の変化がわかる点が気に入ったようだった。他にも、館内の注意書きが思わず立ち止まって読んでしまうような面白い工夫がされており、真似したいとの意見が出た。



(写真3) 利用目的毎に分けられた空間

(5) 交流会

1日目の最後は、島根大学の食堂で交流会が開かれた。和やかな雰囲気の中、他大学の図書館職員と学生の活動について意見を交わした。まず、学生主体の活動に職員はどれほど関与しているか尋ねた。ある大学では、毎週学生のミーティングに同席し、企画のアイデアを出す段階から学生と協働して行うという。一方、ほとんどの企画を学生にまかせて、最終的な企画書を提出してもらうという大学もあった。ほかにも職員が学生向けの講習会を実施する大学や、10名以上の職員で活動のサポートを行っている大学など、学生団体の規

模に応じてサポート体制はさまざまであった。

学生には、加入のきっかけを尋ねてみた。ほとんどの学生は、図書館内に掲示してあったポスターを見て加入したと回答した。また、高校生の時に参加したオープンキャンパスで活動を知ったという学生もいた。それを逆手に、新規メンバー獲得のためオープンキャンパスに力を入れているという大学もあった。

(6) ワークショップ

2 日目は前日のワールドカフェの続編となる「やりたいこと」を形にしよう!と題して開催された。前日に自分が企画した図書館イベントを、実行計画書に書き出す作業を行った。計画書を作成するにあたり、改善点や課題について他者からアドバイスをもらう作業を繰り返した。最終的に各班で最も優秀なアイデアを投票で決定し、選ばれた代表者が全体会でプレゼンテーションを行った。各班代表者の奇想天外なアイデアに、参加者は興味深く聞き入っていた。

2 日目になると当初の緊張も解け、休憩時間に他大学の学生にあれこれ質問した。活動についての色々なアイデアが出され、改めて学生の持つアイデアや興味の奥深さに驚かされた。



(写真 4) 2 日目ワークショップの様子

(7) 本学における報告会

2 日目は帰りの新幹線の都合上、島根県立大学の図書館見学に参加できなかった。

夏休み明けの 10 月、シンポジウムに参加した学

生による本学での報告会が開かれ、シンポジウムで得られた成果について発表を行った。各団体の活動を知ることで、自分たちの課題であるサポーター活動周知の方法やメンバー獲得に繋げていける活動を学んだようである。今後は、情報発信を積極的に行っていきたいと目標を掲げた。シンポジウムに参加して実際に本学でやってみたいことはあるか?という質問に、すでに他大学で採用されているものや、今回のワークショップで発案されたものなど、これまで本学ではやったことのない自主企画に取り組みたいと答えていた。

(8) 本学の活動事例

シンポジウムに参加した多くの大学から、「学生にやりたいことをさせている」との声を聞いた。学生に任せる事に対して不安や心配のない大学は少ないだろう。しかしながら、つつい手を出しそうな、あるいは無理だと言ってしまうような所を我慢して任せてみると、彼らは私たちの予想を軽々と超えていく。以下は本学の事例である。

今年 6 月、サポーターたちが改元記念のイベントを主催した。もともと改元にちなんで何かイベントをしたいという思いは持っていたようである。ある日、図書館サポーターの 1 人が授業の始まりに、新元号「令和」の意味についての短い解説を受けたことがきっかけとなり、その解説に興味を持ち、先生にお願いして図書館で講演会を開きたいとミーティングで発案した。これまでの本学サポーターの活動は、図書の企画展示もしくは毎年やっているイベントが多く、初めての試みをどこまで学生に任せられるか、正直不安が大きかった。提出された企画書に手を加え、職員もサポートしながら改元記念の企画の準備を進めていった。打ち合わせやメールのやり取りにはサポーター・職員だけでなく、教員にも加わってもらった。事前の広報や当日の準備、司会進行・運営も基本的にサポーターが行い、必要な物品等は職員が用意した。振り返れば反省点や改善点は多いが、初めての試みにチャレンジできたことは意義深い。

講演会には、サポーターや図書館職員の他、サ

ポーター以外の学生、教員、学外者など多くの人
が集まった。最初は授業の始まりの時事ネタとし
て提供された話だったが、1人の学生が興味を覚
え、みんなにも聞いてもらいたいという思いから
講演会企画に成長した。昼休みの30分間という短
い時間であったが、この講演会を開催することで
図書館利用者への新たな興味・関心・学びの場
の提供につながったのではないだろうか。参加学生
や講師をお願いした教育学部国語教育の亀井 森
先生からもまたやってほしい・またやりたいの
声をいただいた。前述したとおり、学生の興味
の幅は想像以上に広く、予期せぬところから
アイデアを生み出してくる。学生が提案した
アイデアを見たり聞いたりした誰かに何か
新しい刺激を与えるかもしれない。もしくは
学生自身が「次はもっとすごいこと
やりたい」と思うかもしれない。図書館には
多くの知識・情報が集まっている。利用者
のさらなる学習意欲を支援できるのではない
だろうか。



(写真5) 令和企画講演会の様子

おわりに

日頃から学生サポーターたちの活動を見てい
ると、多くの失敗や成功を通して、成長していく姿
を間近に感じることが出来る。今回はいつものフ
ィールドを飛び出して、いつもと違うメンバーと
図書館について考える機会を得た。本学の学生た
ちはシンポジウム参加を通して、自分たちの活動
を見つめなおし改善点に気が付いたようだ。今後
の活動の展開に期待しつつ、学生自身が達成感や
自分の成長を感じられる活動の場になるようサポ
ーターを続けていきたい。

〈参考文献〉

1) 第9回大学図書館学生協働交流シンポジウム、

<https://www.lib.shimane-u.ac.jp/LAS/>

(参照 2019-12-5)

2) 香取一昭、大川恒. ワールド・カフェをやろう：
会話がつながり、世界がつながる. 新版, 日本経
済新聞社, 2017, p.20

加盟館ニュース（五十音順）

【大分大学】

企画展示

旦野原図書館（以下、「図書館」）では、大分県でラグビーワールドカップの試合が行われたことから利用者の関心が高まるよう「ラグビーを知ろう！」と題してラグビーに関する資料を展示した。

また、大分県立美術館（OPAM）や大分歴史博物館の展示期間に合わせて関連する資料を展示した。

<展示一覧>

4月：入学おめでとう～新生活お手伝いします～

5月：名画に親しむーダ・ヴィンチ没後500年ー

6月：北欧特集 OPAMにムーミン展が来る！

7月：①ラグビーを知ろう！②レポート・論文サポートBOOK

10月ミニ展示：ろうそくの科学

10月：①来豊者②B CAFE（読書会）カフェで読みたい本

11月：本を楽しもう！



企画展示（図書館）

医学図書館では、秋季企画展示として10月に「話題の本、注目の本、集めました」を1階ラウンジで開催した。

医学系、看護系、ベストセラーなど様々なジャンル50冊の新刊書にPOPを添えて展示した。期間中、教職員・学生による計38冊の貸出があった。



企画展示（医学図書館）

ライティング・サポート・デスク

前期は7月1日（月）～8月8日（木）に実施した。昨年度はライティング以外の相談も多くあったが、今年度はライティングを強化するため、ライティング相談者用のウェルカムシートと利用者用アンケートを作成した。57件依頼があり、稼働率は211.1%だった。ライティングの割合も61.7%と昨年度に比べ33.1ポイント増加した。後期も実施を予定している。

Sを目指すレポートの書き方講習会

前期は、7月上旬から中旬に情報検索編と出典と引用編を各2回行い参加者は25名だった。

「ネットから引用するとき、どうやって引用を明示すればよいか、詳しく知る事ができたので、この講習を受けて良かったです。」「今までわからないままレポートを書いてしまっていたので、講習が聞けて良かったです。」と講習に参加できて良かったという感想があった。

後期は11月下旬から12月上旬に以前から要望があったライティング編を追加して行う予定である。



講習会の様子

学生協働の取り組み

B CAFE（読書会）イベントを学生2名（以下「企画メンバー」）と企画・運営・実施した。

今年度第1回目は、「カフェで読みたい本」と題し、10月21日（月）に開催した。参加者は7名だった。

読書会では、1分程度で紹介者のオススメペー

ジを全員で読んだ後、紹介者が本の説明を行い、話し終わった後フリートークを行うようになっていく。

オススメ本のジャンルも古典、ショートショート、推理小説、ノンフィクションと多岐に渡っていて、参加者は、興味深く話を聞き、活発に意見交換を交わしていた。

「他の人がどういう視点で、“本や社会を見ていくか”を知る事ができて、自分との“違い”を感じることができた。」「本の読み方が1人1人違っておもしろく感じました。」と感想があった。

読書会で紹介された本は後日展示し貸出できるようにした。



読書会と展示の様子

大学開放イベント

11月4日（月）の大学開放イベントで且野原図書館では以下のイベントを行った。

- (1) 一般・娯楽雑誌の無償配布
- (2) KENBUN を使おう！大分の歴史的・地域新聞ラッピングサービス

図書館入口で雑誌の無償配布を行った。多くの方が雑誌を手に取り、どれを持って帰るか選びながら嬉しそうに持って帰る姿が見られた。

大分大学と大分県立図書館が共同開発した「KENBUN」を使った歴史的・新聞のラッピングサー

ビスには大人71名、子ども56名の計127名が参加した。

学生スタッフがKENBUNの説明や印刷、ラミネート加工をサポートした。参加者は、シールやマスキングテープを使って思い思いにデコレーションしていた。

大分県立図書館がマイクロフィルムで所有する1876年（明治9年）～1969年（昭和44年）までに大分県内で発行された新聞紙面約16万ページを読むことができるシステムだが、知らない方も多く「新聞のアーカイブを見ることができるとは知らなかった。」という感想が多くあった。

他には、「楽しいイベントだった。」「おじいちゃんの誕生日プレゼントで喜んでもらえると思うので、良かった。」「また、来年も参加したい。」との感想があった。



大学開放イベントの様子

【鹿児島大学】

令和スタート企画

(1) 日本のいにしえ「万葉集」展示—新元号「令和」の出典元—

新元号「令和」にちなんで、4月8日（月）から5月31日（金）の間、中央図書館1階エントランスにおいて「令和」の出典元とされている日本の古典「万葉集」に関する書籍を中心に展示を行った。



(2) 図書館サポーター主催「令和スタートキャンペーン～元号をきっかけに古典に親しもう～」

5月30日（木）から6月30日（日）の間、中央図書館1階エントランスにおいて、明治・大正・昭和・平成の各元号を振り返る企画として、その時代の名著を年表形式で掲示し、名著の一部の展示・貸出を行った。図書館サポーターが手作りの特製「令和のしおり」を配布したところ、利用者に好評であった。

また6月6日（木）、教育学部亀井森先生による講演会を開催した。講演会では、新元号”令和”についての解説、新しく何か始めたい人へおすすめめの古典作品として、「雨月物語」「好色五人女」「大石兵六夢物語」の紹介があり、古典の世界がわかりやすく身近に感じられた等の感想が参加者から寄せられ、古典に触れる良い機会となった。



令和元年度九州地区目録講習会

9月26日・27日に中央図書館を会場として、令和元年度九州地区目録講習会を開催した。九州地区の大学等図書館から図書目録業務を担当、または担当予定の職員14名が受講した。同講習会は九州地区国立大学図書館協会が主催し、九州地区大学図書館協議会と国立情報学研究所が共催して行うもので、九州地区の国立大学図書館職員が講師を務めた。

受講者は2日間にわたり、演習を交えつつ、参照ツールの種類と使い方、書誌情報の内容理解と検索方法、所蔵登録の考え方等を学び、時に苦戦しつつも意欲的に取り組んでいた。

来年度の運用開始が予定されている新目録所在情報システム「CAT2020」についても講義の枠内で説明の時間が設けられ、質疑応答の様子や事後アンケート結果からは関心の高さがうかがわれた。



【鹿屋体育大学】

企画展示

新入生向けに大学での勉強法、レポートの書き方などを紹介した「新入生におすすめの本」、専門図書以外の読書の参考となる「本屋大賞」等、関連図書を購入、展示するなど季節や学内行事等に沿った企画展示ほか、職場体験で図書館業務を経験した鹿屋市立鹿屋女子高校生2名による「女子高校生が選んだお薦めの本」の展示も行った。

図書館サービス向上

平成30年10月に実施したアンケートに寄せられた学生からのリクエストにより、利用規則を変更し、2週間5冊という制限を緩和し4週間10冊まで貸出可とするようにした。

NIFS ラコモ

アクティブ・ラーニングや学内における学生の主体的な学修・協働学習を支援する環境の整備として、昨年度のNIFS GALLERY 改装に続き、図書館1階にNIFS ラコモを開設した。NIFS ラコモには、ipad等の資料をリラックスして閲覧できる個別のソファや、壁貼り付け型のホワイトボードシート、ミーティングテーブルなどを備えている。

館内模様替え

(1) 視聴覚資料、英文多読用図書の配架場所を変更し、企画展示や新着図書の展示スペースとして広く利用できるようにした。

また閲覧室の参考図書を移動することで閲覧テーブルの配置を変更し、区切りをなくして閲覧室に広く利用しやすい雰囲気を持たせるようにした。



(2) 季節、催事（ハローウィーン、クリスマス等）にあわせ受付カウンター周りなど職員手作りによる飾りつけを行い、親しみやすく、入りやすい雰囲気作りを行った。



飾りつけ効果もあり、学生から購入図書リクエストが多く寄せられるようになってきた。

【九州大学附属図書館】

第 8 回中国・四国・九州地区大学図書館職員 フレッシュパーソンセミナーを開催

国立大学図書館協会地区助成事業として、第 8 回中国・四国・九州地区大学図書館職員フレッシュパーソンセミナーを 9 月 12 日から 13 日まで開催した。本セミナーは、中国・四国・九州・沖縄地区大学等の図書館職員として採用された職員が、職員としての第一歩を踏み出すにあたって必要な図書館業務の知識を修得することを目的としている。

今回は大学図書館採用 3 年以内の図書館職員 29 名の参加があった。堀賀貴九州大学大学院人間環境学研究院教授の基調講演につづき、当館の 5 名の職員が講師となり、利用者サービス、学習・研究支援、収書整理、e リソースの整備・運用のテーマで講義を行った。その後、4 班に分かれてグループワークを行い、最後に「九大新中央図書館への新提案」として各班の成果を発表した。

参加者からは「他大学の事例や課題を知ることができて良い刺激を受けた」「他大学の職員と交流できる貴重な機会となった」等の感想があり、今後の地区内の人的ネットワークの形成にもつながる有意義なセミナーとなった。

CAT2020 説明会

CAT2020 (2020 年以降の目録所在情報システム)の説明会を 9 月 20 日に中央図書館 4 階きゅうとコモンズにて国立情報学研究所と共催で実施した。九州地区を中心に全国各地の大学図書館員等から参加申込が殺到し、申込開始から即日で定員に達するなど、国内で大きな関心を集めた(九州大学会場での参加者は 88 名)。説明会では、藤井眞樹氏(国立情報学研究所)、佐藤初美氏(東北大学附属図書館)の両名より、現行運用からの変更点、システム改修の面などについて、詳しく解説いただいた。質疑応答では参加者から活発に意見が述べられ、CAT2020 の円滑な運用に積極的に取り組もうという意識の高さがうかがえた。また、

CAT2020 の正式運用の開始まで 1 年を切り、これから準備を始める NACSIS-CAT/ILL 参加館の職員にとっても新システムに関する知見を深める良い機会となった。

研究データおよび研究インパクト指標に関する国際イベントを開催

本学とイリノイ大学アーバナ・シャンペーン校との戦略的パートナーシップの一環として、イリノイ大学の図書館職員を招へいし、研究データおよび研究インパクト指標に関するシンポジウム、ワークショップ、セミナーを 3 日間にわたり開催した。

12 月 5 日のシンポジウム「大学における研究データサービス」では、図書館の研究データサービス部門におけるサービスや、サブジェクトライブラリアンによる研究者への研究データ支援の実際が紹介され、日本の大学における研究データサービスの方向性について議論が行われた。翌日 6 日には、前日のシンポジウムをふまえた内容のワークショップを実施した。9 日には、イリノイ大学の図書館職員に加えて同大学より副プロボストが来校し、大学図書館で開発された研究インパクト指標が紹介された。

3 日間で延べ 142 名の参加者があり、全国の関係者から注目される企画となった。



「九州地区西洋古典資料保存講習会・実習」を開催

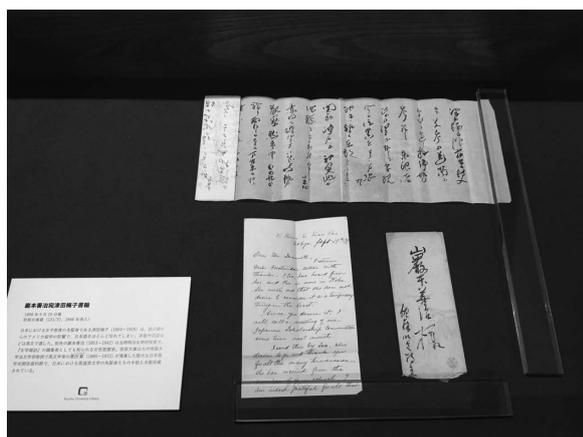
国立大学図書館協会地区助成事業として、「九州地区西洋古典資料保存講習会・実習」を 2 日間

にわたり開催した。

12月12日の講習会では、一橋大学の講師による講義・実演・事例報告および九州大学附属図書館職員が本学における取り組み紹介を行った。つづく13日の実習では、封筒フォルダ作成、保存箱作成、保護ジャケット作成等を行った。講習会は38名、実習は10名の参加者があり、資料保存に関する研修機会が少ない九州地区において、資料保存に関する知識・技術の向上を図る貴重な機会となった。

九州大学開学記念行事における図書等資料企画展示

九州大学では、5月11日を「大学記念日」とし、例年、開学記念行事を開催している。開学記念行事の一環として、附属図書館では、伊都キャンパスの中央図書館で図書の企画展示を5月9日～5月15日まで開催した。展示したのは、キャンパス移転に伴う資料調査の中で再発見された、ロマン・ロランや南方熊楠、津田梅子といった著名人のサインや筆跡が遺る資料5点。新しい中央図書館として初めての企画展示となったが、来館した利用者は、熱心に資料を見学していた。



国際学術シンポジウムと連動した図書資料等企画展示

中央図書館4階きゅうとコモンズにおいて開催された第1回「民国演劇、戯単、劇場」国際学術シンポジウム（2019/8/28～29開催、九州大学言語文化研究院・中国人民大学国学院主催）に連動

した展示会『中国の芝居番付〈戯単〉：戦前の日本人学者が見た中国劇の名優と名舞台』を8月26日～8月30日まで開催した。展示した資料は、当館のコレクションである濱文庫の戯単を中心に、名古屋大学、慶應義塾大学、早稲田大学から出品の協力を得た。シンポジウムの参加者や中国の留学生等が大変興味を示し盛況に終わった。



第58回 附属図書館貴重文物展示会

中央図書館グランドオープン後、初となる附属図書館貴重文物展示を11月7日～11月16日に開催した。今回の展示は「一九三〇年代の九大アジア研究と北京」と題し、九州大学文学部中国文学講座初代教授である目加田誠の北京留学日記『北平日記』をはじめとする貴重な資料や記録をもとに、1930年代の日本と中国の学術交流にスポットをあてた。目加田誠『北平日記』ほか資料の一部は、九州大学と地域連携協定を締結している大野城市（大野城心のふるさと館）の特別協力を得て展示した。11月9日には、本企画を監修いただいた静永健教授（九州大学人文科学研究院）による講演会を開催し、47名の参加があった。講演会後のギャラリートークも盛況であった。





学習・教育支援体制の再構築

附属図書館における学習・教育支援を推進してきた学内プログラム「教育の質向上支援プログラム(Enhanced Education Program: EEP)」が平成29年度に最終年度を迎え、附属図書館の取り組みは事後評価で最高評価Aを獲得した。EEP終了後の学習・教育支援を発展させるため、平成30年10月の附属図書館組織改編により学術サポート課を新設、さらに図書館TA(Cuter)の指導体制として、附属図書館研究開発室の下に「学習・教育

支援WG」を整備した。

令和元(平成31)年度前期は、図書館TA(Cuter)が講師を務める学部1年生対象のレポート講座・実験レポート講座・プレゼン講座において、いずれも過去最大の受講者数を記録した。令和元年10月には、九州大学の新TA制度開始に伴い、学内TAがBTA/ATA/TFの3階層に区分されることとなり、図書館TA(Cuter)はATA(アドバンスド・ティーチング・アシスタント)として位置づけられた。全学TAに対する教育プログラムの一部科目について、図書館職員と図書館TA(Cuter)の協働によるeラーニング教材作成を依頼されるなど、図書館TA(Cuter)が全学TAの模範として活躍することが期待される。

令和元年11月には、附属図書館が提供するWeb上の学習ガイド「Cute. Guides」による課題解決支援の取組が、全国の図書館におけるレファレンスサービスの優れた事例を表彰する「第5回図書館レファレンス大賞」で、図書館振興財団賞を受賞した。

【九州工業大学】

図書館ウェブサイトリニューアル

平成30年度末に実施したシステムリプレイスにあわせて図書館ウェブサイトのリニューアルした。PCだけでなく、スマートフォンやタブレット端末からも快適に閲覧できるようレスポンシブデザインを用いた他、これまで紙の申込用紙で受付けていた資料のキャンパス間取寄せやラーニングコモンズ等の施設予約をウェブから申請できるようシステムの追加を行った。

トップページは、写真や画像を多用したデザインへ変更するとともに、検索窓をタブで切り替えられるようにしたことで、明るい印象でわかりやすくなったと利用者から好評である。



新入生へのおすすめ本展示

本館・情報工学部分館の合同企画として、先生や職員に新入生に薦めたい図書の書評を書いてもらい、新入生が本を手にするきっかけを作ること

を目的に実施した。期間は4月中旬から一ヶ月半ほどで、書評を図書に張り付けて展示を行ったところ、立ち止まって見る学生が多く見られ、図書館はどういうところかを紹介する良い機会になった。



ミニ特集コーナーの設置

『学生生活に役立つ本』・『万葉集』・『Raspberry Pi』・『Harry Potter series』

情報工学部分館に設置したミニ特集コーナーでは、様々なテーマに沿った展示を実施している。

第1回は『学生生活に役立つ本』をテーマとして、前途ある学生に読んで貰いたい本を紹介した。

また、第2回は、平成から令和へと、初めて時代が移り変わることを経験した学生たちへ、新元号である『令和』の出典である『万葉集』をテーマとした本を集め、その時代に思いを馳せてもらった。

第3回は『Raspberry Pi』。全国初の「情報工学部」に設置された分館として、情報工学に関するテーマをいくつか取り上げることが多いが、この展示もその一環である。

第4回は、未だに根強い人気を持つ『Harry Potter series』の特集である。『ハリー・ポッターシリーズ』は、原書から翻訳本、視聴覚資料と蔵書も多岐に渡り、懐かしそうにDVDや翻訳本を手にする学生が多く見受けられた。

今後も、同様のコーナーを企画・設置し、学生や教職員に対し、本を手にする楽しみを伝えてい

く。



Library Lovers' 企画

『覆面本イベント「Masked book～今宵あなたは未知の本と出会う～」』

本館・情報工学部分館の合同企画として、『覆面本イベント「Masked book～今宵あなたは未知の本と出会う～」』を2019年10月7日～12月14日の期間で実施している。

題名や本文が見えないように包装紙で包まれた本を配架し、読者は提示されたキャッチコピーを頼りに、読んでみたいと思った覆面本を手にする。返却時に本の感想を記入したコメントカードを提出してもらい、ホワイトボードに展示している。



まだ見ぬ本との出会いを生み出し、新しい世界を知り、刺激を受ける機会を得られるとのことで、利用者から好評を博している。

学生選書ツアー

毎年8月から11月下旬に学生による選書ツアーを本館・情報工学部分館それぞれで実施している。今年度、本館選書ツアーでは福岡市内の大型書店において6名の学生が参加し、専門分野や興味のある分野のコーナーで、目を輝かせながら本を吟味し100冊購入した。情報工学部分館は11月末に実施する予定である。

なお、選書した図書は、それぞれの館でコーナーを設置して展示している。



本館選書ツアーの様子



昨年度の情報工学部分館ツアーの様子



学生選書ツアーコーナー

【熊本大学】

留学生による「ポスター・セッション2019」を開催〈7/12〉

留学生と日本人学生が日本語で交流できる場を広げることを目的としてグローバル教育カレッジの日本語教育分野が企画、図書館が後援となり、中央館ラーニングcommonsにて開催した。初級から上級まで、お揃いのTシャツを着た16名の留学生が「今、学んでいること・伝えたいこと」をテーマに日本語でポスター発表した。熊本大学へ在学中の留学生が、日本人学生に向けて自ら日本語で発信し、交流しようとするイベントは初めての試みであったが、55名が参加し、活発な質疑応答や歓談が行われた。図書館も「留学生のための選書」を情報コーナーに設置し好評を得た。



医学系分館にて「ラーニング・カフェ」（第1回～第6回）を開催〈4-6月〉

医学系分館では、さまざまな若手の先生方による講演「ラーニング・カフェ」を開催した。飲み物を片手に先生方の熱いトークや研究秘話を聞いた学生たちからは、質問も相次ぎ、毎回大変好評であった。



ラーニング・カフェ

生物学の楽しさを、飲み物片手に味わいませんか？

日時： 2019年4月25日（木） 15：00～
 場所： 医学部図書館1階 ラーニング commons
 講師： 三浦 恭子
（熊本大学大学院生命科学研究部 老化・健康長寿学分野 准教授）

ハダカデバネズミ 

それは異例の長寿で、女王を中心とした集団生活を行う生物。
このオモシロイ生物の研究についてお話いただきます。

※予約不要。直接お越しください。
 ※ペットボトル・水筒は持ち込みできます。

問合せ：熊本大学附属図書館医学系分館
 TEL：096-373-5035

貴重資料展「熊本藩に生まれた近代—手永・惣庄屋制と地域行政—」を開催 〈11/2-4〉

今年で35回目を迎えた貴重資料展は、「熊本藩に生まれた近代—手永・惣庄屋制と地域行政—」をテーマに永青文庫研究センターとの共催で開催した。熊本藩の地方統治は、同時代からも後世からも高い評価を受けており、藩行政の仕組みや官僚制が高度に整備され、百姓出身の惣庄屋を責任者とする「手永」（地域行政機構）が独自の吏員と財源をもち、耕地開発・災害復旧・社会救済など

の広範な行政活動を展開していた。資料展では、細川家文書、松井家文書とともに、熊本地震後に救出された惣庄屋文書（古閑家文書）から、「手永」の組織や行政活動の実態を伝える文書を中心に30点を超える貴重資料を展示した。多数の来場者は、近代地方自治制の重要な前提となった手永・惣庄屋制の実態について興味深く見学していた。開催期間は3日間であったが、初日には「熊本藩政と手永・惣庄屋制—近代地方自治の胎動—」の演題で今村准教授（永青文庫研究センター）のセミナーが開催され、予定時間を超えて質問が相次ぎ、盛況であった。

第35回 熊本大学附属図書館貴重資料展

熊本藩に生まれた近代—手永・惣庄屋制と地域行政—

開催期間：令和元年11月2日（土）～4日（日）
 10時～17時
 会場：熊本大学附属図書館 1階
 古文書閲覧室 ラーニング commons

■ 熊本藩政と手永・惣庄屋制—近代地方自治の胎動—
 今村 准教授（永青文庫研究センター）

入場・観覧 無料 近代地方自治の歴史的背景を明らかにする

共催：熊本大学附属図書館・熊本大学永青文庫研究センター
 協力：熊本県立総合資料館・熊本大学
 後援：熊本大学学務部、熊本大学教育委員会、熊本日日新聞社・NHK 熊本放送局・RBC・TRU・KCT・KAB



【佐賀大学】

採用1年目職員が選ぶお薦め本の展示企画

佐賀大学附属図書館では、図書館職員が時季や季節に合わせた図書等のテーマ展示を行い、蔵書を様々な切り口で利用者に紹介しています。

このたび新たな企画として、2019年10月1日から11月15日までの期間、採用1年目職員が選ぶお薦め本の展示企画を行いました。

展示テーマ「ちょっぴり年上のわたしたちが大学生におすすめしたい本～採用1年目大学職員が選びました～」を掲げて、本館、医学分館それぞれの館のカウンター近くに、若手職員が大学時代に読んでよかった本や学生に紹介したい本と手作りのポップを並べて紹介しました。個性溢れるポップと多様な分野の本が集まった展示コーナーは好評を博し、当初10月31日までとしていた展示期間を11月15日までに延長しました。



お薦め本の展示コーナー（本館）

これまで教員、学生によるお薦め本の企画は行ってきましたが、学内他部署の職員が参加する企画は初めてであり、より学生に近い目線で推薦し

てもらえるよう、2018年10月以降に佐賀大学に採用された新規採用職員を対象に協力依頼を行いました。

また、この展示企画は若手職員の皆さんに自分が勤務する大学の図書館へ足を運んでもらうよい機会になると考え、本館、医学分館を会場にポップの作成会を開催し、業務に支障のない時間帯を選んで参加してもらいました。

若手職員の皆さんには、それぞれの部署の業務がある中、推薦する図書の選定からポップの作成にいたるまで、好意的に協力いただきました。

今回の新しい企画が盛況であったことを受けて、これからも図書館と他部署が連携して企画する展示やイベントを開催できればと考えています。



ポップ制作中の若手職員(医学分館)



制作されたお薦め本のポップ

【長崎大学】

開館時間の変更

平成31年4月より中央図書館の試験期の開館時間を8時半から8時とし、医学分館では、試験期の土日祝日の開館時間を10時から9時へ、閉館時間を20時から21時に変更した。また、利用の少ない時期の開館時間の繰り上げも実施した。経済学部分館では、土日祝日の開館時間を見直した。

・中央図書館

試験期平日 8時～22時 (←8時半～22時)

2, 3月の閑散期の平日

8時半～20時 (←8時半～22時)

・医学分館

試験期土日祝日 9時～21時 (←10時～20時)

3月平日 8時半～20時 (←8時半～22時)

3月土日祝日 10時～17時 (←10時～20時)

・経済学部分館

土日祝日 12時～18時 (←10時～17時)

Library Lovers' Nagasaki の開催

長崎県大学図書館協議会で開催しているイベント Library Lover's Nagasaki は、今年で4回目となった。合同イベントは「でじまくんからの挑戦状」。クイズを解いて、その答えの本



を持ってくれば、景品のトートバックに入れて貸し出すという今回初めて本の貸出で完了するイベントとなった。毎年楽しみにしている常連さんもいて、開始と同時にやって来てくれるなど、クリア者は昨年より多い110名となった。

独自イベントとしては、例年行っている選書ツアーに加え、読書通帳の企画や、医学分館では連動展示として短歌をテーマにしたものや、百人一首をテーマとしたクイズも出題され、読書週間の

イベントとして定着している。



ベトナムカントー大学との本の交換

平成30年にJICAの研修で、ベトナムのカントー大学の図書館から研修生を受け入れたのをきっかけに、平成31年2月には長崎大学より日本語学習者用に重複除籍図書113冊を寄贈し、6月にはカントー大学よりベトナム語学習者用に、ベトナム語のテキスト38冊が寄贈された。



各館で個性的な展示を展開

中央図書館、医学分館、経済学部分館それぞれで、個性豊かな展示を行っている。1月の「おみくじしおりで新春の運試し！」企画で始まり、経済学部分館では、「読む『平成史』」と題し、平成元年から30年までを「時代編」「文芸編」「ミリオンセラー編」で振り返る展示、中央図書館では「令和にも読みたい平成の本」や「万葉集」展示、医学分館でも、ひとやすみ文庫の充実や「医学分館 de 経済本」等の様々な展示を開催した。



【福岡教育大学】

センター長と学生との懇談会の実施

平成31年1月、学術情報センターを利用している大学院生及び学部生から参加者を募り、センター長との懇談会を実施した。大学院生4名、学部生5名の合計9名の学生が参加し、学術情報センターに対する意見や要望など活発な意見交換が行われた。図書館に関しては、「図書の閲覧や自習をしやすい環境であると思う」等の満足している意見がある一方、「最新の本を充実して欲しい」「館内の温度調整をもっと徹底してほしい」等の不満な意見もあり、図書購入依頼の制度を活用することや館内の温度を設定温度ではなく室温で管理すること等の可能な範囲で対応していくことを確認するなど、今後の図書館を運営していく上で有意義な会となった。

オープンキャンパス2019年の実施

7月20日（土）開催の大学オープンキャンパス行事として、謎解きゲーム「異世界より帰還せよ」及び小学校教科書のミニ展示を実施した。

謎解きゲームは、参加者が図書館入口で配付された資料に記載されたヒントをもとに図書館（異世界）を歩き回ってキーワードを探し出し、その言葉をつなげて伝説の花（サクラ）を探しだし、その裏に隠された謎を解いて元の世界（大学キャン

パス）へ帰還するというゲームを通じて、図書館の見学を行ったり、電動集密書架等の設備に触れたりしてもらうもので、大変人気を博した。今年は400名以上が挑戦し、約230名が帰還（正解）した。



また、学校教科書のミニ展示は、図書館に所蔵されている昭和中期から平成後期（戦後に使用した教科書、保護者世代が使用した教科書、高校生世代が使用した教科書、最新の教科書）を展示し、来館した見学者の方に時代の変遷を感じてもらえるように実施した。



子ども図書室の活用

図書館内に設置されている子ども図書室において、本学の幼児教育選修学生が企画するイベントを支援している。例年5～6回行われており、本年も実施している。学生が飾り付けをした子ども図書室に附属幼稚園の園児を招待し、絵本の読み聞かせのほか、簡単なものづくりやゲームを行っている。



【宮崎大学】

附属図書館本館及び医学分館改修工事

本館が令和元年7月～令和2年5月（予定）の期間、医学分館が平成30年12月～令和元年12月の期間、改修工事のため休館している。本館は「共創の場」としての図書館～共に学び、考え、創る～をコンセプトに令和2年5月中のリニューアルオープンを目指して工事を行っている。医学分館は既に工事は終了し、「よき医療人材の育成と学生の視点に立った学習サポートの実現に向けて～図書館（医学分館）と福利施設を融合した学修環境の強化・拡充～」をコンセプトに令和2年1月のオープンに向け開館準備を行っている。なお、改修工事期間中は両館とも仮設図書館を設置し、図書館業務を行っている。



改修工事中の医学分館ロビー



改修工事の始まった本館の外観

全国大学ビブリオバトル2019 予選会

「ビブリオバトル2019-首都決戦-予選会 in 宮崎大学」を開催した。

第1回は10月29日（火）に開催し、5人のバトラーと14人の観戦者が参加した。バトラーは本から得られた物の見方の変化などの体験を語ったり、本の美しさの感動を語ったりと、思い思いの表現で観戦者を楽しませた。

第2回は11月8日（金）に開催し、5人のバトラーと13人の観戦者が参加した。この回では、有名作家の一般的なイメージとは違う作品の魅力を語った紹介や、社会問題を扱った本の紹介などが見られた。

いずれの回も、観戦者から様々な質問が出され、ディスカッションタイムも盛り上がった。



全国大学ビブリオバトル 2019 予選会

学生選書ツアー（第1回）

6月23日（日）に市内の大型書店において学生選書ツアーを実施し、13名の学生が参加した。学生自身が興味のある専門分野や一般書など189冊の本が選ばれた。参加した学生からは、「興味のある分野の専門書が購入できてよかった」「貴重な体験になった」等の感想が寄せられた。購入した本は参加した学生による紹介文とともに館内に展示された。

この「選書ツアー」の展示コーナーは、来館する学生にも好評で、コーナーの前で立ち止まって本を手にする様子がよく見受けられた。



学生選書ツアーの様子

「アメリカ国務省×宮崎大学 図書館プロジェクト」キックオフシンポジウムを開催

附属図書館改修に伴う機能強化の一環として、附属図書館と本学国際連携センターが連携し、助成申請していた米国国務省福岡領事館の助成金（U.S. Consulate Fukuoka PAS Annual Program Statement）による助成が正式決定したことを受け、米大学協会による Frederic W. Ness Book Award を受賞した「Teaching Naked」の著者であり、米大学協会シニアフェロー、及び米国ガウチャー大学前学長である Jose Antonio Bowen 氏と米国福岡領事館広報領事である Yuki Kondo-Shah 氏を招き、令和元年11月18日（月）に本学創立330記念交流会館コンベンションホールにおいて「アメリカ国務省×宮崎大学 図書館プロジェクト」キックオフシンポジウムを開催した。



講演中の Bowen 氏

本プロジェクトでは、来年5月に予定されている本学附属図書館リニューアルオープン後に、図書館内に設置されるアメリカン・インフォメーション・デスクを拠点に米国留学や文化に関する情報提供やイベント等を行うことで日米間の文化交流を促進し、更なる国際化を進めていくこととしており、その成果が期待されている。

【琉球大学】

館内企画展示

図書館の主な利用者である学部学生の図書館資料への興味や知識欲を高め、図書館を活用してもらうことを目的に、本館において様々なテーマで資料の展示・紹介を行っています。

2019年度は「新入生」「海外」「環境」「電子資料」をテーマに、紙媒体の資料だけでなく、電子ブックやデータベースなどもあわせて紹介してきました。「電子資料」をテーマにした「電子祭り」では、展示期間に毎日ツイッターでおすすめの電子資料を紹介するなど、図書館に来館しなくても利用できるという電子資料のメリットを活かした取り組みを行いました。

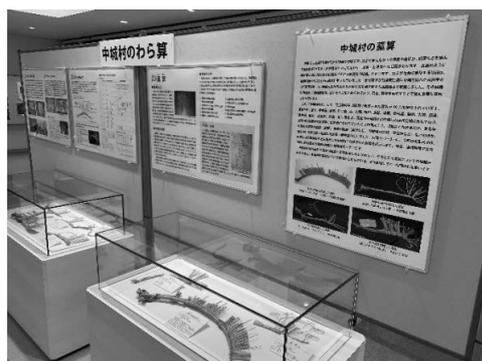


また、2019年10月31日に発生した首里城火災を受けて、臨時企画展「首里城」を開催しました。首里城は沖縄の象徴的存在のひとつであっただけでなく、琉球大学開学の地でもあることから、首里キャンパス時代の写真や、首里城復元に関する図書、文化財と災害に関する資料等を展示しました。



令和元年度琉球大学附属図書館・博物館（風樹館）企画展を開催

平成26年度より博物館（風樹館）と合同で企画展を開催しており、今年度は中城村教育委員会および中城村護佐丸歴史資料図書館との共催、中城村の後援により「いとむかしの中城～琉球大学資料にみる自然・文化・人～」を11月1日から11月18日まで中城村護佐丸歴史資料図書館で開催しました。本企画展では、通常一般公開をしていない附属図書館所蔵の原資料や写真資料、博物館（風樹館）所蔵の動物標本や骨格標本を展示し、ギャラリートークや講演会等のイベントも開催しました。



図書館活動報告

福岡県・佐賀県大学図書館協議会北部地区研究会

【平成30年度研究会】

日時：平成31年2月15日(金)13:30～16:10

会場：北九州市立大学図書館

本館1階図書館ホール

出席者：13館20名

当番館：北九州市立大学図書館

近畿大学産業理工学部図書館

議事

- (1) 協議事項「平成31年度福岡県・佐賀県大学図書館協議会北部地区研究会の年会費徴収について」
- (2) 承合事項
 - 1) 入館者・貸出数の増加を行う施策について(福岡県立大学)
 - 2) CAT2020に関する対応について(九州女子大学・九州女子短期大学)

(3) その他

1) 平成31年度当番館確認

2) 平成32年度当番館選出

事例発表

表題：「北九州市立大学図書館の利用者教育について」

(発表：北九州市立大学図書館 石原 由貴氏)

講演

演題：「学びの場としてのラーニングコモンズ」

講師：飯田 健司氏(丸善雄松堂株式会社)

教育・環境ソリューション事業部ソリ

ューション推進統括部コンサルティ

ング部 部長)

その他

・各大学図書館との情報交換と連携協力依頼について(北九州市立中央図書館)

【令和元年度研究会】

日時：令和元年11月15日(金)13:30～15:30

会場：西日本工業大学おばせキャンパス

A棟2階会議室

出席者：12館21名

議事

- (1) 平成30年度決算報告及び監査報告
- (2) 令和元年度予算(案)
- (3) 協議事項
 - 1) 令和2年度福岡県・佐賀県大学図書館協議会北部地区研究会の年会費徴収について
- (4) 承合事項
 - 1) 長期延滞資料の除籍について
 - 2) 視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律(読書バリアフリー法)への対応について

3) 図書の紛失について

(5) その他

1) 令和2年度当番館確認について

産業医科大学

九州女子大学・九州女子短期大学

2) 令和3年度当番館選出について

西南女学院大学

九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学

講演

演題：「レファレンス活用について-モディリアーニを例として-」

講師：福岡女子短期大学元教授

別府大学・福岡県立大学非常勤講師

小柳 親芳 氏

九州地区私立短期大学図書館協議会

【2019年度 総会・研修会】

日 時：2019年4月18日（木）13:30～17:00

場 所：小倉リーセントホテル

当番館：香蘭女子短期大学図書館

出席者：17館 28名

総 会

- (1) 平成30年度事業報告
- (2) 平成30年度決算報告および監査報告
- (3) 平成31年度事業計画(案)および予算書(案)審議

- (4) 2019年度役員館について

研修会

1. 講 演

演題：清張文学に読む昭和時代・情景の記録性

講師：大津 忠彦 氏（元筑紫女学園大学教授）

2. 協議事項

- (1) 九州地区大学図書館協議会総会の短大部会当番校について
- (2) 夏期研修会にかかる費用について

3. 承合事項

学生図書館サポート・学生ボランティア等活動について

【2019年度 夏期研修会】

日 時：2019年8月23日（金）13:30～16:00

場 所：福岡市市民福祉プラザ（ふくふくプラザ）
2階会議室

出席者：14館 21名

1. 講 演

演題：「パステインダーの達人になる」

講師：前川 和子 氏

（日本図書館研究会理事

私立短期大学図書館協議会常任理事）

2. フリーディスカッション

3. 見学

ふくふくプラザ福祉図書・情報室
西南学院大学図書館

私立大学図書館協会西地区部会 九州地区協議会

【2019年度 総会】

日 時：2019年4月18日（木）14:00～17:00

場 所：小倉リーセントホテル

当番館：日本赤十字九州国際看護大学図書館

出席者：37館 56名

I. 報告事項

(1) 九州地区協議会関係

- ①2018年度九州地区協議会及び決算報告
- ②第1回定例幹事会
- ③2018年度九州地区研究会及び決算報告
- ④研究会準備委員会
- ⑤第2回定例幹事会

(2) 九州地区大学図書館協議会関係

- ①九州地区大学図書館協議会総会

(3) 西地区部会関係

- ①2019年度西地区部会事業計画（案）及び予算（案）について
- ②2019年度予算の暫定執行
- ③2019年度西地区部会総会開催概要（案）
- ④2019年度西地区部会研究会開催概要（案）について
- ⑤2019年度西地区部会関連行事日程について
- ⑥役員校・当番校等一覧

(4) 私立大学図書館協会関係

- ①次期役員校、総会当番校の選出について
- ②第80回総会・研究大会の開催について
- ③行事・会議予定
- ④新規入会校ならびに脱会校について

II. 協議事項

(1) 九州地区協議会関係

- ①2019 年度九州地区協議会研究会について
- ②2021・2022 年度私立大学図書館協会会長校の推薦について
- ③2021・2022 年度以降の九州地区協議会理事校の推薦について
- ④外国新聞分担保存の廃止について

(2) 九州地区大学図書館協議会関係

- ①2019 年度九州地区大学図書館協議会の役員校について

III. 承合事項

- (1) 学外者のデータベース、電子ジャーナルのサービスについて（熊本保健科学大学）

IV. 確認事項

- (1) 九州地区協議会HP及びMLの運用について

- (2) 「加盟校基礎データ変更届」の手続き変更について

- (3) 外国新聞分担保存について
- (4) 九州地区協議会年度別幹事校
- (5) 本会関係行事・会議等スケジュール

V. その他

- (1) 2019 年度の当番校・幹事校・役員校等の紹介
- (2) 2019 年度九州地区協議会年会費の納入について（連絡）

VI. 講演会

「新 IRDB と次期 JAIRO Cloud～NII 研究データ基盤での役割～」

講師：国立情報学研究所

オープンサイエンス基盤研究センター

特任助教 林 正治 氏

【2019 年度 臨時会議】

1. 私立大学図書館協会 2021・2022 年度全国会長校ならびに 2021・2022 年度以降の九州地区協議会理事校の選出について

日 時：2019 年 4 月 18 日（木）

場 所：西日本工業大学地域連携センター

参加者数：10 校 18 名

I. 協議事項

- (1) 私立大学図書館協会 2021・2022 年度全国会長校の選出について
- (2) 2021・2022 年度以降の九州地区協議会理事校の選出について

2. 私立大学図書館協会 2021・2022 年度全国会長校ならびに 2021・2022 年度以降の九州地区協議会理事校の選出について

日 時：2019 年 5 月 24 日（金）

場 所：福岡工業大学 本部棟3階 第二会議室

参加者数：9 校 18 名

I. 協議事項

- (1) 私立大学図書館協会 2021・2022 年度全国会長校の選出について

- (2) 2021・2022 年度以降の九州地区協議会理事校の選出について

3. 2021・2022 年度私立大学図書館協会会長校の推薦ならびに 2021・2022 年度九州地区協議会理事校の推薦に係る書面決議について

日 時：2019 年 6 月 3 日（月）

～2019 年 6 月 10 日（月）

場 所：メール会議

参加者数：加盟大学 51 校

I. 協議事項

- (1) 2021-2022 年度の私立大学図書館協会会長校として西南学院大学を推薦することならびに 2025-2026 年度西地区部会部会長校の決定を取り消すこと
- (2) 2025-2026 年度西地区部会部会長校に福岡大学を推薦すること
- (3) 2021-2022 年度の九州地区協議会理事校に久留米大学を推薦することならびに 2022 年度九州地区協議会総会当番校の決定を取り消すこと（別途福岡南部から当番校を選出）

【2019 年度第 1 回定例幹事会(メール会議)】

日 時：2019 年 6 月 11 日 (火) ～
6 月 17 日 (月)

場 所：メール会議

参加者数：6 校 6 名

協議事項

- (1) 2019 年度九州地区研究会企画(案)について
- (2) 2019 年度九州地区研究会予算(案)につ

いて

(3) 次年度の九州地区協議会(総会)での
講演者推薦依頼について

(4) その他

確認事項

- (1) 九州地区協議会役員校等について
- (2) メール会議留意事項について
- (3) 審議結果記入欄

【2019 年度 研究会】

日 時：令和元年 9 月 6 日 (金) 10:30～16:40

会 場：J:COM ホルトホール大分
会議室 202

出席者：27 館 39 名

テーマ：『図書館の「今」を考える
～それぞれの図書館の姿～』

I. 事例発表

- (1) 「宮崎県北部地域における大学図書館と公立
図書館との連携―地域課題としての認知症
をテーマとして―」
九州保健福祉大学薬学部動物生命薬科学科
准教授 山内利秋氏
- (2) 「久留米大学御井図書館の学習支援
―出張レファレンスサービスの試み―」
久留米大学御井図書館 司書 工藤 彩氏

III. 講演

「戦後の教育改革にみる民主化政策
―大分軍政部の活動報告を中心として―」
元日本文理大学 准教授 清水孝子氏

IV. 事例発表

- (3) 「図書館システムのクラウド化について」
西日本工業大学図書館
学務課 課長補佐 宇佐圭司氏
学務課 図書担当 主査 中田輝美氏
- (4) 「学生と共に創る魅力ある図書館の試み」
日本文理大学図書館長 福島 学氏
日本文理大学図書館主任 渡辺ひろえ氏

意見交換会

J R 九州ホテルブラッサム大分

【2019 年度 研究会準備委員会】

期 日：2019 年 11 月 8 日 (金) ～
11 月 14 日 (木)

場 所：メール会議

参加者数：6 校 6 名

テーマ：『図書館の「今」を考える
～それぞれの図書館の姿～』

I. 報告事項：

- (1) 2019 年度九州地区研究会について

II. 協議事項：

- (1) 2020 年度九州地区研究会について

①研究会日程・会場について

②統一テーマについて

③発表テーマ・時間配分・発表順番につい
て

④参加費について

⑤意見交換会について

III. 連絡事項：

- (1) 2020 年度私立大学図書館協会西地区
部会研究大会の研究発表者について

【2019 年度第 2 回定例幹事会】

日 時：2019 年 12 月 6 日(金)

場 所：長崎純心大学 ヤヌワリオホール (J 棟)
会議室 2

参加者数：7 校 11 名

協議事項

- (1) 「九州地区協議会役員校等ローテーション表」
について
- (2) 2020 年度九州地区協議会の年会費、協議会
参加費、情報交換会費について
- (3) 2020 年度九州地区協議会総会の実施計画
(案) について
- (4) 2022 年度九州地区協議会当番校の推薦につ
いて
- (5) 総会・研究会開催時における災害等の対応に

ついでガイドライン(案)

(6) 九州地区研究会の加盟館以外への呼びかけに
ついて

(7) その他

報告事項

- (1) 2019 年度九州地区協議会報告について
- (2) 2019 年度九州地区研究会決算書につい
て

確認事項

- (1) 2020 年度九州地区大学図書館協議会
(私大部会) 表彰委員館、編集委員館の選出
について
- (2) 2020 年度新加盟申込みについて
- (3) 2020 年度脱会届について

福岡県・佐賀県図書館協議会

【令和元年度総会】

日 時：令和元年 5 月 23 日 (木)

場 所：産業医科大学
大学本館 2 号館 4 階・他目的ホール

当番館：産業医科大学図書館

出席者：31 館 (41 名)

協議事項

- (1) 平成 30 年度決算報告および監査報告
- (2) 令和元年度事業計画および予算案審議
- (3) 次期理事館及び監事館の選出について
- (4) 福岡県図書館協会理事の選出について
- (5) その他

地区研究会報告

- (1) 北部地区
北九州市立大学校図書館
図書館係長 小林 由憲 氏

(2) 福岡地区

九州産業大学図書館
庶務係長 繁森 隆 氏

(3) 南部地区

久留米工業大学学術情報センター(図書
館)
係長 森 文子 氏

承合事項

- (1) 除籍 (図書の除却) について
- (2) 講座等経費で購入された資料の図書館管理
について

講 演

演題 「大学医学部図書館の現在地～海外留
学の経験から～」

講師 産業医科大学 公衆衛生学
富岡 慎一 氏

鹿児島県大学図書館協議会活動報告

1. 第40回鹿児島県大学図書館協議会総会

日時：令和元年5月30日（木）13:30～14:35

会場：第一工業大学 ソラトピア6階 会議室

出席者：11館24名（オブザーバー館1館1名を含む）

協議事項

- (1) 平成30年度会務報告
- (2) 平成30年度決算報告及び監査報告
- (3) 令和元年度事業計画
- (4) 令和元年度予算審議
- (5) 協議題審議
 - ・鹿児島県大学図書館協議会加盟館職員名簿について
 - ・大学図書館と県立図書館との連携を模索する
- (6) その他

2. 令和元年度第1回鹿児島県大学図書館協議会講演会

日時：令和元年12月5日（木）13:30～14:35

会場：第一工業大学 ソラトピア6階 会議室

内容：「CAT2020対応について」

講師：佐藤 初美 氏（これからの学術情報システム構築検討委員会 東北大学附属図書館 情報管理課長）

参加者：18名

3. 令和元年度第1回鹿児島県大学図書館協議会研修会

日時：令和元年12月5日（木）14:35～14:40

会場：第一工業大学 ソラトピア6階 会議室

内容：研修報告（研修名：第20回 図書館総合展）「文書報告」

報告者：暉峻 一子 氏（鹿児島県立図書館）

参加者：18名

熊本県大学図書館協議会

【平成31年度(2019年度)熊本県大学図書館協議会総会】

日時：令和元年(2019年)6月5日（水）

15:00～16:10

会場：熊本県立大学 CPD センター

出席者：13館23名

議事：

- (1) 平成30年度総会議事録の確認
- (2) 平成30年度事業報告について
- (3) 平成30年度収支決算並びに監査報告について
- (4) 平成31年度(2019年度)事業計画（案）及び予算（案）について
- (5) 熊本県図書館連絡協議会理事会理事の選出について
- (6) 次年度世話館について

(7) その他（照会事項等）

(8) 意見交換会

【新聞所蔵リストの作成（データ更新）】

令和元年(2019年)6～7月実施

【平成31年度(2019年度)熊本県大学図書館職員研修会】

日時：令和元年(2019年)9月19日(木)

14:00～15:30

会場：熊本県立大学図書館3階会議室

出席者：9館16名

講師：熊本県立大学文学部准教授

大島 明秀 氏

演題：書物と書誌の東西

長崎県大学図書館協議会

1. 令和元年度総会

日 時：令和元年7月19日（金）14時30分～
16時30分

会 場：長崎ウエスレヤン大学

出席者：11館22名（外に長崎県公共図書館等協
議会より1名）

議 題：

- (1) 平成30年度事業報告・決算報告・監査
報告について
- (2) 令和元年度役員館等の選出(案) について
- (3) 令和元年度事業計画(案) 及び予算(案)
について

報告事項：

- (1) 各館の当面する諸問題について
- (2) その他

2. 研修事業（2019年1月～12月）

長崎県公共図書館等協議会との合同研修会

日 時：令和元年9月9日（月）10時15分～
15時30分

会 場：ミライ on 図書館1階多目的ルーム

テーマ①レファレンス協同データベースの利活
用

講 師：藤田千紘氏（国立国会図書館関西館図書
館協力課 協力ネットワーク係）

テーマ②「長崎県立長崎図書館のサービスにつ
いて」「図書館内見学」

説 明：長崎県立長崎図書館 企画・広域支援課
職員

参加者133名（大学14名、公立等119名）

3. Library Lovers' Nagasaki 2019

長崎県大学図書館協議会事業として、Library
Lovers' Nagasaki 2019を開催した。

期 間：10月24日～11月18日

合同イベント：でじまくんからの挑戦状(参加校：
11校、参加者：約483名 クリア者：394名)

佐賀県大学図書館協議会

令和元年度 佐賀県大学図書館協議会総会

日 時：令和元年8月23日（金）
11:00～13:00

場 所：西九州大学附属図書館
小城キャンパス2号館1階2104室

出席者：5館7名

議 事

1. 協議事項

- (1) 平成30年度決算報告について
- (2) 令和元年度予算(案) について
- (3) 令和2年度幹事館および監査館の選出に
ついて

2. 報告事項

- (1) 各大学図書館の活動状況について
- (2) 佐賀県読書推進運動協議会・総会の報告
について

3. 承合事項

- (1) 返却日遵守のための工夫及び督促方法
等について
- (2) 図書館における節電対策について
- (3) 留学生のための図書館の対応等について

福岡県・佐賀県大学図書館協議会南部地区研究会

平成30年度第2回研究会・総会

日時：平成31年2月8日（金）

13:30～16:30

場所：久留米工業大学

100号館 9階 多目的ホール

出席者：11館16名

議事

1. 研究テーマ

- (1) 「図書館スタッフの現状とそれを踏まえての業務遂行のための取り組み・考慮等について」

2. 協議事項

- (1) 「平成31年度 研究テーマ」について

3. 承合事項

- (1) 図書の返本台について
- (2) 返却ポストの設置場所および運用について

(3) 図書館システムのサーバについて

(4) 図書館内の飲食等の実態と対策について

4. 講演

演題：「脂肪酸と健康に関する最近の話題」

講師：久留米工業大学 学長

今泉 勝己 氏

5. その他

平成30年度南部地区研究会のまとめについて

6. 総会

(1) 平成30年度決算について

(2) 平成31年度予算（案）について

(3) 平成31年度幹事館及び当番館の選出について

(4) 平成31年度福岡県・佐賀県大学図書館協議会理事館・監事館の選出について

令和元年度第1回研究会

日時：令和元年10月3日（木）

13:30～16:30

場所：九州龍谷短期大学

本館2階 図書館閲覧室

出席者：12館15名

議事

1. 研究テーマ

- (1) 「学生の読書奨励について」

2. 承合事項

- (1) 火災・自然災害（地震・風水害等）・人的な迷惑行為（急病・事故・故障）などの状況に係る図書館に特化した危機マニュアルを作成しているのかお聞きしたい

(2) 図書付録のCDの貸出方法について

(3) 除籍図書のリサイクルについて

(4) 中学生の職場体験を受け入れているか

3. その他

第2回研究会当番館等の確認

4. ワークショップ

「マンダラチャートを作成して図書館の目標を推進しよう」提案：西九州大学

5. 講演

演題：「障害と合理的配慮」

講師：九州龍谷短期大学保育学科講師

田中 沙来人 氏

大分県大学図書館協議会

【令和元年度総会】

日 時：令和元年9月11日（水） 13:30～16:30

当番館：大分県立芸術文化短期大学

会 場：大分県立芸術文化短期大学会議室

出席者：9館15名

協議事項

- (1) 平成30年度事業報告について
- (2) 平成30年度決算報告及び監査報告について
- (3) 令和元年度事業計画（案）について
- (4) 令和元年度予算（案）について
- (5) 大分県大学図書館協議会会則に関する申し合わせ（案）について
- (6) 令和2年度役員館（案）及び当番館（案）について

承合事項

- (1) 研究紀要冊子の管理（保管規程など）状況について

情報交換

- オープンサイエンスと図書館の役割
- 一般からの寄贈図書取り扱い
- ラーニング・コモンズの利用状況
- 図書と学生の連携
- 選書ツアーの実施方法 他

講演

演 題：「和歌と短歌の近代」

講 師：長福 香菜氏（大分県立芸術文化短期大学国際総合学科 講師）

【平成30年度研修会】

日 時：平成31年2月28日（木）14:00～16:00

場 所：大分工業高等専門学校会議室

演 題：「大友宗麟と大砲伝来」

講 師：上野 淳也氏（別府大学文学部准教授）

参加者：5館8名

宮崎県大学図書館協議会

1. 令和元年度宮崎県大学図書館協議会総会

日 時：令和元年9月13日（金）

場 所：九州保健福祉大学総合医療専門学校

出席者：8館 + オブザーバー1館 計16名

議 題：

- (1) 平成30年度 決算報告及び監査報告について
- (2) 令和元年度 事業計画及び予算について
- (3) 協議事項について
- (4) 承合事項について
- (5) 次年度当番館・監査館ローテーションについて

協議事項

- (1) 図書館専門職員の採用方法について
(提出館：宮崎大学附属図書館)

承合事項

- (1) 学生による選書（リクエスト、選書ツアー等）の実施状況について
(提出館：宮崎大学附属図書館)
- (2) 悪天候等による臨時休館の対応について
(提出館：宮崎公立大学附属図書館)
- (3) 長期延滞本の処理について
(提出館：宮崎公立大学附属図書館)
- (4) 図書館における SNS の利用・管理状況
(提出館：宮崎学園図書館)
- (5) 図書館内の湿度管理・空調設備について
(提出館：南九州大学・南九州短期大学図書館)
- (6) ジャーナル等学会誌等の定期購読の見直しについて、実施状況（実施周期等）及び実施手法等について
(提出館：宮崎産業経営大学附属図書館)

(7) 図書館等における図書購入に、媒体としてのアマゾンに関して、現在どのようにされているのか、今後どのようにされる予定かについて
(提出館：宮崎産業経営大学附属図書館)

(8) 電子ジャーナル、電子ブック、データベースの勘定科目について
(提出館：九州保健福祉大学附属図書館)

沖縄県大学図書館協議会

1. 2019年度(第47回)総会

日時：2019年9月20日(金) 14:30~15:10
会場：沖縄県立博物館・美術館 博物館講座室
出席者：44名
議題：2018年度事業報告
2018年度決算報告
2018年度監査報告
2019年度事業計画(案)
2019年度予算(案)
2020年度の当番館及び2019年度の監査館の選出

出席者：50名

(2)2019年度第1回沖縄県大学図書館協議会
研修会

日時：2019年11月22日(金) 14:30~16:00
会場：琉球大学附属図書館 本館2階
ラーニング・コモンズ プレゼンエリア
テーマ：「デジタルアーカイブに関連する法政策の動向」
講師：生貝直人氏(東洋大学経済学部総合政策学科准教授)

出席者：25名

(3)2019年度第2回沖縄県大学図書館協議会
研修会

日時：2019年12月16日(月) 14:00~16:00
会場：琉球大学附属図書館 本館2階
ラーニング・コモンズ PCエリア
テーマ：「国立国会図書館のオープンデータ」
講師：奥田倫子氏(国立国会図書館電子情報部電子情報流通課主査兼標準化推進係長)

出席者：24名

2. 講演会・研修会

(1)2019年度第1回沖縄県大学図書館協議会
講演会

日時：2019年9月20日(金) 15:25~16:40
会場：沖縄県立博物館・美術館 博物館講座室
テーマ：琉球政府の看護制度
講師：大嶺千枝子氏(元沖縄県看護協会会長、元沖縄県立看護大学教授)

出席者：24名

九州地区国立大学図書館協会

【令和元年度九州地区目録講習会】

日時：令和元年9月26日(木)~9月27日(金)
場所：鹿児島大学附属図書館 中央図書館
内容：講義及び実習
主催：九州地区国立大学図書館協会
共催：九州地区大学図書館協議会、国立情報学研究所
参加者：14名

カリキュラム：

- (1) 目録検索・所蔵登録
- (2) マニュアル、ツール類の紹介
- (3) 書誌流用入力
- (4) 流用入力時の注意点
- (5) 新規入力
- (6) CAT2020 についての説明

講師： 土持 遼馬 氏（鹿児島大学附属図書館）
柿原 友紀 氏（熊本大学附属図書館） 鳥居 愛 氏（九州大学附属図書館）
寸田 五郎 氏（宮崎大学附属図書館） 山下 智久 氏（鹿屋体育大学附属図書館）

令和元年度 九州地区国立大学図書館協会実務者連絡会議

日時：令和元年10月25日（金）13：30～17：00
会場：九州工業大学百周年中村記念館
1階多目的会議室
出席者：14名

協議事項

・地区における連携事業について（九州大学）

承合事項

(1) 原著版National geographic (ISSN=00279358) を購読中であれば、その入手方法についてお尋ねしたい（福岡教育大学）

- (2) 防災訓練の実施方法について（九州大学）
- (3) 災害等が発生した場合の図書館としての具体的な対応措置や危機管理マニュアルの作成について（大分大学）
- (4) 図書館所蔵の郷土資料等の電子化（デジタルスキャン）について（大分大学）
- (5) 学生用図書の見書について（大分大学）
- (6) Kindle等の個人用電子書籍の公費購入について（宮崎大学）
- (7) 附属図書館の文書決裁における専決規程の有無及びその運用について（琉球大学）

令和元年度 福岡県・佐賀県大学図書館協議会 福岡地区研究会記録

日時：令和元年11月8日（金）13：30～16：30
（受付開始 13：00）

会場：福岡教育大学事務局棟1階 特別会議室

出席者：11館 19名

当番館：福岡教育大学学術情報センター図書館
九州情報大学附属図書館
福岡女学院大学図書館

テーマ：「読書と図書館イベント～図書館をもっと楽しむために～」

1. 講演

演題：「教育大学図書館に求められるもの」
講演者：福岡教育大学教育学部国語教育

ユニット 教授 山元 悦子 氏

2. 事例発表

題目：図書館イベント
報告者：各館（1館5分程度）

3. 承合事項

題目：新聞系データベースについて
（提案大学：福岡工業大学）

4. その他

2020（令和2）年度福岡地区研究会当番大学の紹介

※閉会后、福岡教育大学学術情報センター図書館見学

令和元年度九州地区国立大学附属図書館館長懇談会

日 時：令和元年 11 月 29 日（金）13:30～15:20

テーマ：

会 場：九州大学附属図書館 中央図書館
4 階館長室

1. 図書館が直面している課題について
・電子ジャーナル問題への対応

出席者：10 大学 10 名

2. その他

令和元年度九州地区国立大学附属図書館事務（部・課）長会議

日 時：令和元年 11 月 29 日（金）13:30～15:20

5. その他

会 場：九州大学附属図書館 中央図書館
4 階会議室

・協議題

出席者：11 大学 21 名

議 事：

・報 告

1. 令和元年度九州地区国立大学図書館協会実務者連絡会議報告
2. 第 8 回中国・四国・九州・沖縄地区大学図書館フレッシュパーソンセミナー実施報告
3. 令和元年度九州地区目録講習会実施報告
4. 令和元年度九州地区西洋古典資料保存講習会・実習実施予定

1. 九州地区国立大学法人等職員採用事務系（図書業務）二次専門試験に関する申し合わせについて
2. 令和 2 年度九州地区国立大学法人等職員採用事務系（図書業務）二次専門試験について
3. 図書系専門試験の今後の在り方について
4. 実務者連絡会議の今後の在り方について
5. フレッシュパーソンセミナーの今後の在り方について
6. その他

令和元年度九州地区国立大学附属図書館館長・事務（部・課）長会議

日 時：令和元年 11 月 29 日（金）15:30～16:30

3. 国立大学図書館協会理事会報告

会 場：九州大学附属図書館 中央図書館
4 階会議室

4. その他

出席者：11 大学 31 名

・協議題

議 事：

・報 告

1. 館長懇談会報告
2. 事務（部・課）長会議報告

1. 九州地区国立大学図書館協会総会当番校及び九州地区大学図書館協議会役員館の選出について
2. その他

事務局報告

令和元年度九州地区大学図書館協議会 幹事館・副幹事館会議

令和元年12月10日(火)に書面回議により開催の結果、「第70回九州地区大学図書館協議会総会記録(案)」について、一部の文言を修正の上、承認された。

その他について、意見等はなかった。

議題

1. 第70回九州地区大学図書館協議会総会記録(案)について

今年度当番館 九州工業大学附属図書館から資料1のとおり第70回九州地区大学図書館協議会総会記録(案)の提出がありました。

内容をご確認下さい。

2. その他

① 九州地区大学図書館協議会総会における講演、協議事項等について

ご意見等がおありでしたらお知らせ下さい。

なお、協議事項等は別途第71回総会当番館(熊本大学)から照会します。

② 副議長について

総会における副議長は、平成11年度からの副幹事館制度の発足により、副幹事館の図書館長により次の順番で執り行われておりますので、令和2年度につきましても、副幹事館のうちのいずれかの図書館長にお願いいたします。

<参考>

平成11年度(公立大学部会副幹事館長)
福岡女子大学

平成12年度(私立大学部会副幹事館長)
鹿児島国際大学

平成13年度(私立短大部会副幹事館長)
沖縄キリスト教短期大学

平成14年度(国立大学部会副幹事館長)
福岡教育大学

平成15年度(公立大学部会副幹事館長)
宮崎公立大学

平成16年度(私立大学部会副幹事館長)
筑紫女学園大学・短期大学

平成17年度(私立大学部会副幹事館長)
九州東海大学

平成18年度(国立大学部会副幹事館長)
長崎大学

平成19年度(国立大学部会副幹事館長)
熊本大学

平成20年度(公立大学部会副幹事館長)
宮崎県立看護大学

平成21年度(私立大学部会副幹事館長)
九州産業大学

平成22年度(国立大学部会副幹事館長)
大分大学

平成23年度(私立大学部会副幹事館長)
熊本学園大学

平成24年度(公立大学部会副幹事館長)
長崎県立大学

平成25年度(私立大学部会副幹事館長)
久留米大学

平成26年度(公立大学部会副幹事館長)
鹿児島県立短期大学

平成27年度(私立大学部会副幹事館長)
沖縄国際大学

平成28年度(私立短大部会副幹事館長)
鹿児島純心女子短期大学

平成29年度(公立大学部会副幹事館長)
九州歯科大学

平成30年度（私立大学部会副幹事館長）

九州国際大学

平成31（令和元）年度（公立大学部会

副幹事館長）宮崎公立大学

③ 副幹事館、表彰委員館、編集委員館の交代について

副幹事館は、任期が2年間（令和元年度～2年度）のため、選出不要です。

なお、表彰委員館、編集委員館の任期は1年間（再任は妨げない。）ですので、各部会で当番館のご検討をお願いいたします。

第70回九州地区大学図書館協議会総会記録

日 程 表

1. 期 日 平成31年4月19日(金)
2. 会 場 小倉リーセントホテル 2階 「玄海の間」
〒803-0811 北九州市小倉北区大門1丁目1-17
TEL 093-581-5673 FAX 093-582-1789
<http://kokura-recenthotel.jp>
3. 日 程
- | | |
|-------|---|
| 8:30 | 受付開始 |
| 9:00 | 1. 開会 |
| | 2. 当番館長挨拶 |
| | 3. 幹事館長挨拶 |
| | 4. 会議日程・配布資料等の説明 |
| | 5. 議長の選出 |
| | 6. 副議長の選出 |
| | 7. 新任館長等紹介 |
| | 8. 永年勤続表彰 |
| | 9. 幹事館報告 |
| | 10. 平成30年度決算及び監査報告 |
| | 11. 平成31年度予算(案) |
| | 12. 国立、公立、私立、私立短大各部会報告 |
| 10:10 | 13. 協議事項
フレッシュパーソンセミナーの開催について |
| 10:40 | 休憩 |
| 10:55 | 14. 講演
講師：井上創造
(九州工業大学生命体工学研究科 准教授)
演題：機械学習・データマイニングことはじめと
IoT医療・介護応用 |
| 12:15 | 15. 次期役員館の選出 |
| | 16. 次期当番館の挨拶 |
| | 17. 議長、副議長の解任 |
| 12:30 | 18. 閉会 |

出席者名簿（○は新任者）

【国立大学】

九州工業大学

附属図書館長 赤星保浩
図書館・情報推進課長 岩村哲也

大分大学学術情報拠点(図書館)

学術情報拠点長 古城和敬
研究・社会連携部長 堀池幸浩

福岡教育大学学術情報センター図書館

学術情報センター長 池田修
学術情報課長 栗林陸生

宮崎大学附属図書館

附属図書館長 ○新地辰朗
事務長 福本久幸

九州大学附属図書館

附属図書館長 宮本一夫
事務部長 ○瓜生照久
図書館企画課長 ○次良丸章
利用者サービス課長 ○福井啓介
図書館企画課課長補佐 新山明子

鹿児島大学附属図書館

附属図書館長 ○橋口知
学術情報部長 山本和雄
情報管理課長 河野泰久

佐賀大学附属図書館

附属図書館長 山崎功
学術研究協力部長 ○濱野満夫
情報図書館課長 大瀧礼二

鹿屋体育大学

附属図書館長 山田理恵
学術図書情報課長 今村政義

長崎大学附属図書館

附属図書館長 ○増崎英明
学術情報部長 ○森山美香
学術情報管理課長 上野宏

琉球大学附属図書館

附属図書館長 川本康博
事務部長 熊渕智行
情報管理課長 渡名喜一夫

熊本大学附属図書館

附属図書館長 ○山田秀
教育研究支援部長 澤田敬
図書館課長 高木貞治
図書館課副課長 濱崎千雅
図書館課総務担当係長 木村英俊

出席館 11館 32名
欠席館 なし

【公立大学】

北九州市立大学図書館

学術情報課長 江上照明
図書館係長 ○小林由憲

九州歯科大学附属図書館

館長 中島啓介
司書 長 紀美恵

北九州学術研究都市学術情報センター
学術情報担当課長 ○水 口 正 克
主任 森 田 亜希子

大分県立看護科学大学附属図書館
館長 藤 内 美 保
副館長代理 石 田 佳代子

福岡女子大学学術情報センター
図書館事務 大 瀧 麻 耶

宮崎公立大学附属図書館
図書館長 ○森 部 陽一郎
主任主事 佐 山 実 希

福岡県立大学附属図書館
図書館長 永 嶋 由理子
学務部長 柳 瀬 智 幸

宮崎県立看護大学附属図書館
図書館長 ○山 岸 仁 美
専門主幹 門 内 隆 志

長崎県立大学附属図書館
佐世保校附属図書館長 石 田 和 彦
佐世保校次長兼図書課長 犬 塚 尚 志
佐世保校図書グループリーダー
豊 村 正 博
シーボルト校附属図書館長 下 野 孝 文
シーボルト校図書グループリーダー
森 美 彦

鹿児島県立短期大学附属図書館
図書館長 倉 重 賢 治

熊本県立大学学術情報メディアセンター
事務長 安 達 直 昭

沖縄県立看護大学附属図書館
館長 ○金 城 芳 秀

大分県立芸術文化短期大学附属図書館
館長 ○清 水 万 敬
企画情報課長 三 宮 和 彦

沖縄県立芸術大学附属図書・芸術資料館
館長 ○森 達 也

名桜大学附属図書館
図書館長 小 川 寿美子
図書課長 ○比 嘉 辰 己

出席館 15館 28名
欠席館 なし

【私立大学】

西日本工業大学図書館
学務課図書担当主査 中 田 輝 美

九州女子大学・九州女子短期大学附属図書館
図書館長 田 中 雄 二

西南女学院大学図書館
図書課長 西 川 忍
図書係長 ○垂 水 典 子

福岡工業大学附属図書館
館長 三 田 肇
事務長 中 島 良 二
司書 河 野 真奈美

九州国際大学図書館
図書館長 松 井 貴 英
課長補佐 宮 崎 昭

福岡女学院大学図書館
図書館長 岩 下 伸 朗

九州産業大学図書館 庶務係長	繁 森 隆	長崎外国語大学教育研究メディアセンター マルチメディアライブラリー 事務室長補佐	別 所 佐和子
西南学院大学図書館 課長 副課長	吉 田 進 山 下 大 輔	長崎純心大学早坂記念図書館 館長 図書館事務室長	○浜 口 美由紀 岩 崎 由希子
福岡大学図書館 図書部事務部長 学術情報課長	井 口 紀 子 河 村 正 徳	長崎ウエスレヤン大学附属図書館 司書	天 野 みゆき
純真学園大学図書館 主任	山 本 哲 也	長崎国際大学図書館 図書課長	久 保 隆 司
第一薬科大学図書館 図書館長 主任司書	増 田 寿 伸 古 沢 恒 平	熊本保健科学大学附属図書館 教学支援課長補佐	山 崎 栄 子
九州情報大学附属図書館 附属図書館長	丹 羽 崇 之	熊本学園大学付属図書館 図書館長 図書情報課 課長	林 裕 ○西 一 幸
筑紫女学園大学附属図書館 主査	笹 渕 美 幸	崇城大学図書館 館長 課長	原 島 俊 高 吉 夕 香
久留米工業大学学術情報センター 学術情報センター長	高 橋 雅 仁	東海大学付属図書館九州図書館 館長 館員	伊 藤 是 清 古 場 哲 也
久留米大学附属図書館 図書館長 課長補佐	高 栢 真 一 福 田 力	九州看護福祉大学附属図書館 課長補佐	福 本 直 子
国際医療福祉大学 九州地区キャンパス図書館 館長	原 富 英	日本文理大学図書館 主任	渡 辺 ひろえ
西九州大学附属図書館 図書館長	溝 田 勝 彦	別府大学附属図書館 図書館事務部次長	吉 岡 義 信
長崎総合科学大学附属図書館 図書課長	山 川 邦 子	南九州大学・南九州短期大学図書館 係長	岩 重 麻 未

九州保健福祉大学附属図書館

課長 伊藤 倫子

沖縄大学図書館

事務長 糸数 晃

志學館大学図書館

館長 近藤 諭

総務課長代理 ○濱田 みゆき

沖縄キリスト教学院大学図書館

課長 ○渡慶次 智子

鹿児島純心女子大学附属図書館

図書館長 岡村 和信

図書館課長 岩永 眞佐子

沖縄科学技術大学院大学図書館

アシスタント・マネージャー

上原 藤子

沖縄国際大学図書館

係長 山城 圭

出席館 37館 51名

欠席館 10館

【私立短期大学】

九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学図書館

図書館長 大澤 得二

主任司書 八野 梓

鹿児島純心女子短期大学図書館

図書館長 ○佐々木 亘

図書館課長 西 眞知子

福岡女子短期大学図書館

図書館長 ○高橋 敬一

図書館情報課長 大橋 祐子

出席館 3館 6名

欠席館 1館

第 70 回九州地区大学図書館協議総会議事要録

1. 開会

当番館の九州工業大学 岩村図書館・情報推進課長から開会宣言があった。

2. 当番館長挨拶

当番館である九州工業大学附属図書館 赤星館長から挨拶があった。

3. 幹事館長挨拶

幹事館である九州大学附属図書館 宮本館長から挨拶があった。

4. 会議日程・配布資料の説明

岩村課長から配布資料および会議日程について説明があった。

5. 議長の選出

「九州地区大学図書館協議会総会運営に関する細則」第2項に基づき、当番館長である九州工業大学附属図書館の赤星館長が選出され、続いて挨拶があった。

6. 副議長の選出

議長から、副幹事館である宮崎公立大学附属図書館長の森部館長が副議長として指名され、承認された。続いて挨拶があった。

7. 新任館長等紹介

議長から、出席者名簿に基づき、新任館長等の紹介があった。

8. 永年勤続表彰

今回より、経費節減等の理由から前回まで実施してきた本総会での表彰式を割愛し、代わりに被表彰者の氏名を報告することとなった。資料1のとおり、幹事館の九州大学から、「九州地区大学図書館協議会表彰規程」に基づき、被表彰者12名の氏名の紹介があった。

(1) 勤務期間20年以上の者で退職または転職した者(表彰規程第2条第2号)

(所属機関、氏名の50音順)

	表彰の区分	所属大学名	氏名
1	第2条第2号	鹿児島大学	北山幸江
2	〃	九州大学	渡邊俊彦
3	〃	西南女学院大学	石兼富子
4	〃	長崎大学	下田研一
5	〃	琉球大学	金城守

(2) 勤務期間20年に達した者(表彰規程第2条第1号)

(所属機関、氏名の50音順)

	表彰の区分	所属大学名	氏名
1	第2条第1号	九州大学	遠藤 愛
2	〃	九州大学	渡邊 真由美
3	〃	熊本学園大学	石川 知子
4	〃	長崎大学	宮脇 千幸
5	〃	長崎大学	山口 香奈子
6	〃	琉球大学	大城 登樹子
7	〃	琉球大学	古謝 久美子

9. 幹事館報告

幹事館の九州大学より、本協議会の活動について以下3件の報告があった。

(1) 平成30年度新規加盟館、退会館は無く、平成31年4月1日現在の加盟館は、77館である。

(2) 『九州地区大学図書館協議会誌第61号』を平成31年2月に刊行した。協議会ウェブページにも掲載し、各加盟館にも発送済みである。内容は長崎大学田井村館長による巻頭言「図書館におけるユニバーサルデザインとしての空間」のほか、大分県立芸術文化短期大学附属図書館及び九州大学附属図書館中央図書館の図書館紹介、その他加盟館ニュースが寄せられた。また、長崎大学からは、寄稿論文「大型長崎古地図」をいただき掲載した。

(3) 九州地区国立大学図書館協会では、目録講習会を昨年9月6日～7日に熊本大学にて開催した。受講生は、国立6名、公立3名、私立9名の合計18名の参加であった。今年度は鹿児島大学にて夏から秋にかけて開催予定である。また、研修会も検討中であり企画確定次第改めてご案内する。

10. 平成30年度決算及び監査報告

幹事館から、資料2の決算案に基づき報告があった。続いて、監査館である福岡大学から、監査の結果、適切に会計処理されている旨の報告があり、審議の結果、承認された。

なお、監査館実施日の西暦2018年は、2019年との訂正があった。

11. 平成31年度予算(案)

幹事館から、資料3の予算案に基づき説明があり、審議の結果、承認された。

12. 国立、公立、私立、私立短大各部会報告

(1) 国立大学部会報告

九州工業大学から、資料4-1に基づき、九州地区国立大学図書館協会総会の報告があった。

1) 国立大学図書館協会から依頼のあった、第66回国立大学図書館協会総会(2019年6月20日～21日開催予定)の研究集会のテーマは、同協会総務委員会提案の「大学図書館のオープンサイエンスに向けた取り組み」を九州地区としては承認することとした。

2) その他の協議事項については、提案どおり了承された。

なお、国立大学部会に先立ち開催した館長懇

談会では、各大学の重点的に取り組んでいる活動について報告をいただいた。特に、電子ジャーナルの費用の捻出について各大学は苦慮をしている。一部パッケージの解体などで対処しているとの説明もあったが、毎年の値上げには対処できず、抜本的な対処方法が求められており、九州地区だけでなく全国の大学と連携し出版社との粘り強い交渉をしていかなければならないとの認識で一致した。

(2) 公立大学部会報告

福岡県立大学から、資料4-2に基づき、九州地区大学図書館協議会公立大学部会の報告があった。

1) 協議事項：公立大学図書館の課題とその対応について

入館者数、貸出数の右肩下がりの現象の継続、種々の取り組みの実施が学生の集客につながらない、専門職員の育成困難という共通事案が判明し、各大学の取り組みが報告された。今後も引き続きソフト面での取り組みを継続して実施するとの意見がだされた。

2) 承合事項：4件

下記事項について各大学の取り組みの説明や意見交換が行われた。今後も活発な情報共有をしていくことを確認した。

・学内の学生や教職員に対し、図書館の利用方法やサービス内容について周知を図るための工夫について

・視聴覚資料の利用促進等について

・ラーニングコモンズの複数団体の利用の際の共存について

・図書館内のパソコン利用の具体例について(タブレット等)

(3) 私立大学部会報告

九州国際大学から、資料4-3に基づき、私立大学図書館協会西地区部会九州地区協議会の報告があった。なお、当番校の日本赤十字九州国際看護大学図書館館長が田村やよひ氏に交代したとの報告があった。

議事内容は、報告事項、協議事項、承合事項、

確認事項であった。

また、協議事項について次の報告があった。

②「2021・2022年度私立大学図書館協会会長の推薦について」及び③「2021・2022年度九州地区協議会理事校の推薦について」は、再度協議することとなった。

④「理事校ローテーション表の再考について」は提案校が取り下げたため、協議は行われなかった。

⑤「外国新聞分担保存の廃止について」は各館での外国新聞の分担保存の廃止が承認され、それに伴い外国新聞分担保存委員会も今年度末をもって解散することとなった。

議事終了後、オープンアクセスリポジトリ推進協会委員会委員 林正治氏に、「新 IRDB と次期 JAIRO Cloud ～NII 研究データ基盤での役割～」というテーマで講演していただいた。

(4) 私立短期大学部会報告

福岡女子短期大学から、資料4-4に基づき、九州地区私立短期大学図書館協議会総会等の報告があった。

1) 総会では、平成30年度事業報告、平成30年度決算報告及び監査報告、平成31年度事業計画(案)及び予算書(案)が審議され、承認された。

2) 研修会では、元筑紫女学園大学教授大津忠彦氏に「清張文学に読む昭和時代・情景の記録性」というテーマで講演していただき、その後、承合事項「学生の図書館サポート：ボランティア上の活動の実施状況について」、協議事項「研修会に係る費用負担について」など2件、フリーディスカッションと続いた。

13. 協議題「フレッシュパーソンセミナーの開催について」

九州大学から、資料5により提案理由について説明があった。

平成29年度第68回九州地区大学図書館協議会総会において九州地区で開催するセミナーに

ついて、本協議会と共催することが承認されているが、改めて共催することが確認された。

なお、経費については、九州地区目録講習会の研修補助費を申請していることもあり、また、経費をかけずに開催することから本協議会への経費の申請は予定していないとのことであった。

14. 講演

九州工業大学 岩村図書館・情報推進課長から講師の紹介があり、以下の演題で講演が行われた。

演題 『機械学習・データマイニングことはじめとIoT医療・介護応用』

講師 九州工業大学 大学院生命体工学研究科
准教授 井上 創造氏

15. 次期役員館の選出

(1) 幹事館、副幹事館の選出

副議長より、「九州地区大学図書館協議会会則」第6条に基づき幹事館及び副幹事館の選出について説明があった。現在の幹事館及び副幹事館の任期は平成29年度～30年度の2年間となっているため、今年度は次期役員館を下記のとおり選出し、承認された。

○幹事館：九州大学

○副幹事館：佐賀大学（国立）、宮崎公立大学（公立）、福岡工業大学（私立）、福岡女子短期大学（私立短大）

(2) 監査館の選出

幹事館の九州大学より、監査館は幹事館所在地に近い福岡市内の大学が適しているため、次期監査館について福岡工業大学より内諾を得ている旨の説明があり、承認された。

(3) 表彰委員館、編集委員館の選出

昨日の各部会での検討の結果、以下の大学が選出されたとの説明があり、承認された。

○表彰委員館：福岡教育大学（国立）、福岡県立大学（公立）、純心学園大学（私立）、福岡女子短期大学（私立短大）

○編集委員館：鹿児島大学（国立）、北九州市立大学（公立）、西南女学院大学（私立）、福岡女子短期大学（私立短大）

16. 次期当番館の挨拶

九州大学より、次期当番館は、熊本地区から選出することになっており、平成31年度は熊本大学が当番校となる旨説明があり、承認された。

続いて、次期当番館の熊本大学附属図書館の山田館長より挨拶があった。

17. 議長、副議長の解任

予定していた議事が全て終了したため、議長、副議長が解任された。

18. 閉会

当番館の九州工業大学 岩村図書館・情報推進課長から、閉会宣言があった。

2018年度（平成30年度）決算

一般会計

(単位：円)

収入の部				支出の部			
科目	予算	決算	備考	科目	予算	決算	備考
会費	462,000	462,000	@6,000円×77館	総会運営費	300,000	246,558	当番館：鹿屋体育大学
協議会誌代	117,600	116,800	第60号（2017）@800円×146部	協議会誌発行費	216,000	216,000	第61号（2018）200部
広告掲載料	250,000	100,000	5社 第61号（2018）分	事務費	20,000	20,234	会誌送料、送金手数料
広告掲載料	130,000	130,000	8社 第60号（2017）分	積立金会計へ繰入	423,600	326,008	総会講演会謝金・研修事業補助
小計	959,600	808,800		小計	959,600	808,800	

積立金会計

(単位：円)

収入の部				支出の部			
科目	予算	決算	備考	科目	予算	決算	備考
前年度繰越金	246,153	246,153		表彰経費	75,000	96,346	17名（1号該当8名、2号該当9名）
預金利息	3	4	8月11日：2円、2月9日：2円	研修会経費	50,000	50,000	総会講演会謝金
一般会計から繰入	423,600	326,008		研修会補助費	180,000	180,000	九州地区国立大学図書館協会、各県協議会（8地区）研修経費補助。 福岡・佐賀県（福岡地区）は辞退。
				次年度繰越金	364,756	245,819	
小計	669,756	572,165		小計	669,756	572,165	

※ 2018年（平成31年）3月26日 会計監査実施済
監査館 福岡大学 学術情報課長 河村 正



※正しくは2019年

2019年度（平成31年度）予算（案）

一般会計

(単位：円)

収入の部			支出の部		
科 目	予 算	備 考	科 目	予 算	備 考
会 費	462,000	@6,000円×77館	総会運営費	300,000	当番館：九州工業大学
協議会誌代	116,000	第61号（2018）@800円×145部	協議会誌発行費	216,000	第62号（2019）200部
広告掲載料	270,000	15社 第62号（2019）見込み分	事務費	20,000	会誌送料、送金手数料、消耗品費
広告掲載料	170,000	10社 第61号（2018）未収分	積立金会計～繰入	482,000	総会講演会謝金・研修事業補助
小 計	1,018,000		小 計	1,018,000	

積立金会計

(単位：円)

収入の部			支出の部		
科 目	予 算	備 考	科 目	予 算	備 考
前年度繰越金	245,819		表彰経費	75,000	平成30年度予算額を参照
預金利息	4		研修会経費	50,000	総会講演会謝金等
一般会計から繰入	482,000		研修会補助費	200,000	九州地区国立大学図書館協会、各県協議会（9地区）研修経費補助（10件×20,000円）
			次年度繰越金	402,823	
小 計	727,823		小 計	727,823	

九州地区大学図書館協議会会則

昭和 25 年 11 月 27 日施行
昭和 32 年 9 月 12 日改正
昭和 41 年 6 月 2 日改正
昭和 51 年 4 月 23 日改正
昭和 55 年 5 月 9 日改正
平成 9 年 4 月 25 日改正
平成 10 年 4 月 24 日改正
平成 20 年 4 月 18 日改正

(名 称)

第 1 条 本会は九州地区大学図書館協議会と称する。

(会 員)

第 2 条 本会は別に定める資格を有する九州地区の大学図書館等（以下「大学図書館」という。）をもって組織する。

会員は大学等の機関をもって一会員とする。

本会に入会するには、所定の入会申込書を提出し、総会の議決を経るものとする。

(目 的)

第 3 条 本会は会員の緊密な連絡と協力によって、大学図書館の施設、管理及び運営等の健全な進歩発達をはかり、会員相互の親睦をはかることを目的とする。

(事 業)

第 4 条 本会は前条の目的を達するためにつぎの事業を行う。

1. 図書館の研究・調査に関する事項
2. 研究会・講習会等の開催に関する事項
3. 日本図書館協会等の連絡提携に関する事項
4. 学術図書文献の調査及び総合目録の調整に関する事項
5. 学術図書文献の収集、保存及び活用に関する事項
6. その他必要とする事項

(役 員)

第 5 条 本会に幹事館、副幹事館及び監査館を置く。

幹事館は会務を総括し、本会を代表する。

副幹事館は、幹事館とともに会務を処理する。

監査館は、会計を監査する。

第 6 条 幹事館は、総会で互選し、その任期は 2 年とする。但し、再選を妨げない。

副幹事館は、国立大学、公立大学、私立大学及び私立短期大学の各部会からそれぞれ 1 館を総会で互選し、その任期は 2 年とする。但し、再選を妨げない。

監査館は、総会で互選し、その任期は 1 年とする。但し、再選できない。

(事務所)

第 7 条 本会の事務所は幹事館内におく。

(会 議)

第 8 条 本会は毎年 1 回総会を開催する。但し必要に応じ会員の 3 分の 1 以上から請求があった場合は、臨時総会を開くことができる。

第 9 条 総会の運営は、輪番に定められた当番館が幹事館と協議してこれに当たる。

第 10 条 総会は次の事項を行う。

1. 事業計画
2. 決算の承認
3. 予算の決定
4. 幹事館、副幹事館及び監査館の選任及び当番館の決定
5. その他必要なる事項の決定

第 11 条 総会の票決権は 1 大学等の機関につき 1 票とし、議決は多数決による。可否同数の時は幹事館の決するところによる。

(会 計)

第 12 条 本会の経費は会費その他をもってあてる。

第 13 条 会費は年額 6,000 円とし、毎会計年度始めに幹事館に納入するものとする。

第 14 条 本会の予算は毎年総会の議決を経て決定し、決算は監査を受け次の総会において承認を得なければならぬ。

第 15 条 本会の会計年度は 4 月 1 日に始まり、翌年 3 月 31 日に終る。

(会則変更)

第 16 条 本会則の変更は総会にはからなければならない。その決定には出席会員の 3 分の 2 以上の賛成を必要とする。

九州地区大学図書館協議会総会運営に関する細則

昭和 32 年 9 月 12 日決定

昭和 37 年 10 月 2 日改正

昭和 48 年 5 月 11 日改正

昭和 53 年 5 月 12 日改正

平成 11 年 4 月 23 日改正

平成 26 年 4 月 18 日改正

1. 本協議会総会の運営は簡素を尊重し、輪番に当番を引受け易くするためにこの細則を定める。
2. 総会の議長は当番館の館長とする。
3. 議長は副議長を指名することができる。
4. 当番館は幹事館及び副幹事館と協議の上、2ヶ月前に会員宛日程・場所等を通知し、出席者の職氏名及び協議事項・承合事項の提出を求める招請状を送ること。
但し、緊急を要する臨時総会等の場合はこの限りでない。

5. 当番館は協議事項をまとめ、議題として提案理由、又は簡単な説明を付して、出席者に配付し、調査研究の余地を充分与えるように努めること。
6. 当番館は総会の議事録を作成し、会員に配付するものとする。
7. 幹事館及び副幹事館は当番館と協力して、総会で決議された要求事項を貫徹するよう努力する。
8. 総会と同時に会員のための研修会を行うものとする。
9. 会員以外の出席を許すことがある。但し票決権はない。
10. 当番館は加盟館の所属県を次の三地区に分け、地区ごとに等しく持ち廻る。

福岡地区	福岡県
中部地区	長崎県、佐賀県、熊本県、大分県
南部地区	鹿児島県、宮崎県、沖縄県
11. 総会の経費は主として会費及び出席者から徴収する金員より支出し、総会の議決を経た予算案によって実行するものとする。
12. 研修会の講師招聘に要する旅費、謝礼等の費用は、毎年会費の内から積立てて支弁する。

九州地区大学図書館協議会入会に関する細則

昭和 32 年 9 月 1 日施行
平成 9 年 4 月 25 日改正
平成 20 年 4 月 18 日改正

1. 本協議会へ入会を希望する大学図書館（以下「入会申込館」という。）は、最寄りの本協議会 会員の紹介書（別記様式 1）により、入会申込書（別記様式 2）を、総会の 3 ヶ月前までに幹事館に提出する。
2. 紹介を依頼された会員は、総会において入会申込館の概略を説明する。
3. 入会資格の基準は下記のとおりとする。
 - (1) 大学、短期大学又はこれに準じる教育研究機関の図書館施設であること。
 - (2) 本協議会の目的及び事業に賛同し、熱意が十分認められること。
4. 入会申込館は、総会当日は、入会承認まではオブザーバーとして出席することができる。

別記様式 1

九州地区大学図書館協議会入会紹介書

令和 年 月 日

九州地区大学図書館協議会 殿

大学名

図書館名

図書館長名

公印

下記の図書館は、本協議会の目的及び事業に賛同され、また熱意が十分認められますので、本協議会への入会を紹介します。

記

1. 学校（法人）名：
2. 大 学 名：
3. 図 書 館 名：
4. 図 書 館 長 名：
5. 所 在 地：

別記様式 2

九州地区大学図書館協議会入会申込書

令和 年 月 日

九州地区大学図書館協議会 殿

大学名

図書館名

図書館長名

公印

貴協議会の趣旨に賛同し、令和 年度からの入会を申し込みます。

記

1. 学校（法人）名：
2. 大 学 名：
3. 大 学 設 置 年：
4. 学 生 数：
5. 図 書 館 名：
6. 所 在 地：
(電話、FAX 番号)
7. 図 書 館 長 名：
8. 図 書 館 の 概 要：(別紙)
9. 紹 介 館 名：

別紙

図 書 館 の 概 要

図 書 館 名			
事務責任者職・氏名	(電話番号)		
図 書 館 職 員 数	人 (内、司書数 人)		
図 書 館 延 床 面 積	m ²	閲覧座席数	席
蔵 書 冊 数	冊 (内 和書 冊、洋書 冊)		
年間受入図書冊数	冊	年間受入雑誌種数	種
年 間 開 館 日 数	日	通常開館時間	時 分～ 時 分
土 曜 開 館	1 実施 2 未実施		
日 曜 祝 日 開 館	1 実施 2 一部実施 3 未実施		
奉 仕 対 象 学 生 数	人	奉仕対象教職員数	人
年 間 貸 出 冊 数	冊		
図 書 館 相 互 協 力	図書貸借	1 実施 2 未実施	
	文献複写	1 実施 2 未実施	
学外者へのサービス	1 実施 2 未実施		
コンピュータの導入	1 導入済 2 未導入		
コンピュータの適用業務	1 貸出 2 図書受入 3 図書整理 4 雑誌管理 5 OPAC		
ネットワーク環境	1 学内 LAN 接続済 2 インターネット接続済		
国立情報学研究所との接続	1 接続 (1 NACSIS-CAT/ILL 2 NACSIS-IR 3 その他) 2 未接続		

九州地区大学図書館協議会誌編集に関する内規

平成 2 年 4 月 20 日施行

平成 5 年 4 月 23 日改正

平成 11 年 4 月 23 日改正

1. (1) 本協議会誌は、総会記事のほか各部会報告、ニュース等を掲載し、九州地区大学図書館間の情報誌としての機能を果たすこととする。
(2) 本協議会誌編集のために編集委員会を設ける。
2. (1) 編集委員会は、国立、公立、私立及び私立短大の各部会からの推薦により選出された編集委員館で構成する。
(2) 幹事館及び総会当番館は、業務上の必要から編集委員館として参加することとし、上記 2-(1)の編集委員館を兼ねることができる。
(3) 各部会の編集委員館は、幹事館の近隣地区から選出されることが望ましい。
(4) 編集委員館の任期は 1 年とし再任を妨げない。
3. (1) 編集委員館は、それぞれの所属する各部会の記事の提出を担当する。
(2) 総会当番館は、総会記事を担当する。
(3) 幹事館は、編集に関する事務を担当する。
4. 本協議会誌発行のため、印刷代、送料、編集会議費、原稿執筆等謝礼は、毎年会費の内から支弁する。
5. 本協議会誌に掲載された論文・記事は、九州地区大学図書館協議会ホームページに掲載することとする。

九州地区大学図書館協議会表彰規程

(目 的)

第 1 条 この規程は、九州地区大学図書館協議会（以下「協議会」という。）に加盟の大学図書館職員を表彰するため、必要な事項を定めることを目的とする。

(表彰を受ける者)

第 2 条 表彰は、次の各号の 1 に該当し、かつ勤務成績が良好である者について行う。

- (1) 勤務期間 20 年に達した者
- (2) 勤務期間 20 年以上の者で退職または転職した者
- (3) 図書館学の研究、調査等にすぐれた業績のあった者

(表彰状の授与)

第 3 条 表彰は、協議会が別紙様式による表彰状を授与することによって行う。

2 第 2 条に該当する者については、前項の表彰状にあわせて記念品を贈呈することができる。

(被表彰者の選考)

第 4 条 表彰をうける者は、所属図書館長の推薦（別紙様式による）に基づき、表彰委員会が選考し、協議会の総会の承認を経て決定する。

(表彰委員会)

第5条 表彰委員会は、国立、公立、私立及び私立短大の各部会からの推薦により選出された表彰委員館各1館で構成し、任期は1年として再任を妨げない。

(表彰の日)

第6条 表彰は、協議会の総会において行う。

(勤務期間の計算)

第7条 第2条第1号および第2号の勤務期間は、国公立大学図書館およびその他の図書館等に在職した期間とし、10年以上を加盟の大学図書館等に勤務したものでなければならない。

2 次の各号に掲げる期間は、勤務期間から除算する。

(1) 休職の期間（公傷病の期間は除く）

(2) 懲戒処分により停職された期間

(雑 則)

第8条 この規程に定めるもののほか、表彰の実施に関する必要な事項は、別に定める。

附 則

この規程は、昭和42年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、昭和55年5月9日から施行する。

附 則

この規程は、平成9年4月25日から施行する。

附 則

この規程は、平成11年4月23日から施行する。

附 則

この規程は、平成20年4月18日から施行する。

文書番号

令和 年 月 日

九州地区大学図書館協議会幹事館

〇〇大学附属図書館長 殿

〇〇大学（附属）図書館長

〇 〇 〇 〇

令和 年度表彰者の推薦について

下記の者を本年度の総会における被表彰者として推薦しますのでよろしくお取り計らい願います。
なお、別紙のとおり表彰者調書を提出します。

表彰者調書

〇〇大学（附属）図書館

職名		ふりがな 氏名		生年月日	年 月 日
表彰の区分	第2条第1号 第2条第2号 第2条第3号				
勤務成績					
第7条第2項第2号該当の有無 有 ・ 無					
履 歴 事 項					
年 月 日	勤 務 内 容 等	勤 務 期 間			
		加盟館での勤務期間	その他の図書館等 での勤務期間		
～		年 月 日	年 月 日		
～					
～					
～					
～					
～					
～					
～					
～					
～					
計					
		合 計 年 月 日			

- 注 (1) 勤務期間の計算は暦日数によるものとし日を月に換算するときは30日をもって1月とすること。
- (2) 第7条第2項各号の除算期間は朱書すること。
- (3) 第2条第3号に該当する場合は、「勤務成績」欄は「業績」と書きかえて記入し、参考となる資料等を添付すること。

表彰状様式（1）第2条第1号および第2号該当者

表 彰 状

殿

あなたは 年のがい間大学図書館関係の業務に精励されその功労はまことに大きいものがあります。

よってここに記念品を贈り表彰します。

令和 年 月 日

九州地区大学図書館協議会

表彰状様式（2）第2条第3号該当者

表 彰 状

殿

あなたは図書館学の研究調査に精励されその向上発展に貢献されたことはまことに顕著なものがあります。

よってここに記念品を贈り表彰します。

令和 年 月 日

九州地区大学図書館協議会

研修会の補助に関する申合せ

平成6年9月20日決定
平成7年9月 1日改正
平成8年4月24日改正
平成9年4月25日改正
平成10年4月25日改正
平成15年4月25日改正
平成24年4月20日改正
九州地区大学図書館協議会

地区の大学図書館活動を発展させるため、研修会、講演会等（以下「研修会」という。）の経費を補助する申合せ事項を次のとおり定める。

1. 研修会経費を補助する対象は、九州地区大学図書館協議会に加盟している大学図書館が主体となって構成する県又は地区単位の組織とし、別紙のとおりとする。
2. 補助する経費の金額は、年間1組織に対して2万円を限度とする。
3. 研修会に要する経費の補助を受けようとするときは、別記様式による申請書を幹事館に提出するものとする。
4. 経費の補助を受けた組織は、本協議会誌に活動報告を掲載するものとする。
5. 経費の支出は、積立金会計を適用する。
6. 新たな組織から経費の補助の申し出があったときは、総会において承認を得るものとする。
7. これに関する事務は、幹事館で行う。

別 紙

経費を補助する県又は地区単位の組織

1. 福岡県・佐賀県大学図書館協議会（北部地区）
2. 福岡県・佐賀県大学図書館協議会（福岡地区）
3. 福岡県・佐賀県大学図書館協議会（南部地区）
4. 長崎県大学図書館協議会
5. 熊本県大学図書館協議会
6. 大分県大学図書館協議会
7. 宮崎県大学図書館協議会
8. 鹿児島県大学図書館協議会
9. 沖縄県大学図書館協議会

別記様式

令和 年度九州地区大学図書館協議会・研修会経費補助申請書

令和 年 月 日

九州地区大学図書館協議会

幹事館 殿

組織名
代表者
(所属大学)

九州地区大学図書館協議会の研修会経費の補助を受けたく、下記のとおり申請します。

記

研 修 会 名 及 び 内 容	
開 催 期 間	自 令和 年 月 日 () 時 分 至 令和 年 月 日 () 時 分
開 催 場 所	
参 加 機 関 数	
参 加 人 数	
必 要 経 費 (具体的に)	ア. 講 師 謝 金 _____ イ. 資 料 代 金 _____ ウ. 会 場 借 上 費 _____ エ. そ の 他 _____ 合 計 _____
連 絡 担 当 者	氏名 職 電話

* 研修内容は、大学図書館活動を促進させるテーマであること。

副幹事館の役割

平成 10 年 8 月 31 日
幹事館・副幹事館会議

- 1 通常時
 1. 年度の事業・活動についての立案・協議
 2. 所属部会との連絡調整と情報の提供
 3. 入会の勧誘等、協議会の広報（特に所属部会の各大学に対して）
 4. ホームページ充実のための提言案、意見具申
- 2 会誌発行時
各部会から編集委員館は選出されているため、特に役割はないと思うが
・所属部会の情報（研究発表等、原稿情報）の提供等
- 3 総会時
 1. 副議長職に館長を選出等、当番館及び幹事館と協力しての総会運営
 2. 前日決定された各部会における役員館の事務局への連絡
 3. 総会終了後、当番館作成の議事録の確認
- 4 その他
別段ある場合は、適宜副幹事館から提案

九州地区大学図書館協議会ホームページの運用について

平成 10 年 8 月 31 日
平成 20 年 1 月 30 日改正
幹事館・副幹事館会議

1. 九州地区大学図書館協議会ホームページ（以下、「ホームページ」という。）は、九州大学附属図書館のサーバに置く。
(URL <http://www.lib.kyushu-u.ac.jp/qkyogikai/>)
2. ホームページの管理、維持（デザイン・構成を含む）は、九州地区大学図書館協議会事務局（以下、「事務局」という。）が行う。
3. ホームページに掲載する事項は当面以下のものを中心に構成するものとし、それぞれ以下の館が作成する。
 - ・トピックス&NEWS
加盟館、各設置部会毎協議会、各県毎協議会等からの原稿に基づき事務局が作成
総会議事録は総会当番館が原稿を作成

- ・加盟館一覧 事務局が作成
 - ・役員館一覧 事務局が作成
 - ・当番館一覧 事務局が作成
 - ・九州地区大学図書館協議会誌
事務局が作成（論文等執筆者に対しては原稿依頼時にホームページ掲載方の承諾を得るものとする。）
 - ・地区内の図書館活動
各設置部会毎の図書館協議会等及び各県毎協議会が作成
 - ・各種関連資料集 事務局が作成
 - ・関連サイトへのリンク集 事務局が作成
 - ・地区内各館の相互利用案内 各加盟館からの原稿に基づき事務局が作成
 - ・フォーラムページ
協議会が設定するテーマに対する加盟館からの自由な意見・回答のページで、投稿は直接電子メールによる
4. 「3.」のほか、ホームページに文書・記事等の掲載を希望する副幹事館及び加盟館は、HTML形式等で原稿を作成し、事務局に送付するものとする。
事務局は内容を確認のうえ、ホームページに掲載する。

九州地区大学図書館協議会加盟館一覧

R2.01.01 現在

	館名	郵便番号	所在地	電話番号 ()内はFAX番号
国 立	九州工業大学 附属図書館 (館長 赤星保浩, 図書館・情報推進課長 岩村哲也)	804-8550	北九州市戸畑区仙水町1の1	093-884-3071 (093-884-3075)
	福岡教育大学 学術情報センター図書館 (センター長 池田 修, 学術情報課長 栗林陸生)	811-4192	宗像市赤間文教町1番5号	0940-35-1849 (0940-35-1705)
	九州大学 附属図書館 (館長 宮本一夫, 事務部長 瓜生照久)	819-0395	福岡市西区元岡744	092-802-2472 (092-802-2474)
	佐賀大学 附属図書館 (館長 山崎 功, 学術研究協力部長 濱野満夫)	840-8502	佐賀市本庄町1	0952-28-8902 (0952-28-8909)
	長崎大学 附属図書館 (館長 増崎英明, 学術情報部長 森山美香)	852-8521	長崎市文教町1の14	095-819-2193 (095-819-2196)
	熊本大学 附属図書館 (館長 山田 秀, 教育研究支援部長 澤田 敬)	860-8555	熊本市中央区黒髪2丁目40の1	096-342-2213 (096-342-2210)
	大分大学 学術情報拠点 (拠点長 古城和敬, 研究・社会連携部長 堀池幸浩)	870-1192	大分市大字旦野原700	097-554-7482 (097-554-7488)
	宮崎大学 附属図書館 (館長 新地辰朗, 事務長 福本久幸)	889-2192	宮崎市学園木花台西1丁目1番地	0985-58-2879 (0985-58-2880)
	鹿児島大学 附属図書館 (館長 橋口 知, 学術情報部長 山本和雄)	890-0065	鹿児島市郡元1丁目21番35号	099-285-7415 (099-285-7413)
	鹿屋体育大学 附属図書館 (館長 山田理恵, 学術図書情報課長 今村政義)	891-2393	鹿屋市白水町1	0994-46-4874 (0994-46-4157)
琉球大学 附属図書館 (館長 川本康博, 事務部長 熊淵智行)	903-0214	中頭郡西原町字千原1番地	098-895-8153 (098-895-8154)	
公 立	北九州市立大学 図書館 (館長 中尾泰士, 学術情報課長 江上照明)	802-8577	北九州市小倉南区北方4丁目2の1	093-964-4404 (093-964-4437)
	九州歯科大学 附属図書館 (館長 中島啓介, 学務部長 鳥巢 毅)	803-8580	北九州市小倉北区真鶴2丁目6の1	093-582-1131 (093-583-7388)
	北九州学術研究都市 学術情報センター (総務企画部長 小垂昭彦, 学術情報担当課長 水口正克)	808-0135	北九州市若松区ひびきの1番3号	093-695-3150 (093-695-3152)
	福岡女子大学 附属図書館 (館長 太田雅規, 副館長 深町朋子)	813-8529	福岡市東区香住ヶ丘1丁目1の1	092-661-2416 (092-661-2416)
	福岡県立大学 附属図書館 (館長 永嶋由理子, 学務部長 柳瀬智幸)	825-8585	田川市伊田4395	0947-42-1760 (0947-42-9457)
	長崎県立大学 附属図書館 (館長 下野孝文, 佐世保校館長 石田和彦, 佐世保校図書館課長 犬塚尚志, シーボルト校図書館課長 柴崎康隆)	858-8580	佐世保市川下町123	0956-47-5958 (0956-26-2100)
	熊本県立大学 学術情報メディアセンター図書館 (センター長 村尾治彦, 事務長 安達直昭)	862-8502	熊本市東区月出3丁目1番100号	096-321-6614 (096-383-2999)
	大分県立芸術文化短期大学 附属図書館 (館長 清水万敬, 企画情報課長 三宮和彦)	870-0833	大分市上野丘東1の11	097-545-4235 (097-545-4235)
	大分県立看護科学大学 附属図書館 (館長 藤内美保, 総務グループリーダー 矢部美香)	870-1201	大分市大字廻栖野2944-9	097-586-4330 (097-586-4373)
	宮崎公立大学 附属図書館 (館長 森部陽一郎, 事務長 笠島誠嗣)	880-8520	宮崎市船塚1丁目1番地2	0985-20-4814 (0985-20-4806)
宮崎県立看護大学 附属図書館 (館長 山岸仁美, 総務課長 久野智之)	880-0929	宮崎市まなび野3-5-1	0985-59-7756 (0985-59-7773)	
鹿児島県立短期大学 附属図書館 (館長 倉重賢治, 副館長 伊達昌代)	890-0005	鹿児島市下伊敷1丁目52番1号	099-803-4475 (099-803-4473)	

	館名	郵便番号	所在地	電話番号 ()内はFAX番号
公立	沖縄県立看護大学 附属図書館 (館長 金城芳秀, 主査 平良牧子)	902-8513	那覇市与儀1-24-1	098-833-8806 (098-833-5134)
	沖縄県立芸術大学 附属図書・芸術資料館 (館長 森 達也, 主査 松堂輝彦)	903-8602	那覇市首里当蔵町1-4	098-882-5038 (098-882-5068)
	名桜大学 附属図書館 (館長 小川寿美子, 図書課長 比嘉辰己)	905-8585	沖縄県名護市字為又1220-1	0980-51-1062 (0980-51-1065)
私立	西日本工業大学 図書館 (館長 中島潤二, 学務課長 尾郷晴美)	800-0394	福岡県京都郡苅田町新津1-11	0930-23-7729 (0930-24-7900)
	西南女学院大学 図書館 (館長 南里宏樹, 課長 西川 忍)	803-0835	北九州市小倉北区井堀1丁目3の5	093-583-5959 (093-592-1885)
	九州国際大学 図書館 (館長 松井貴英, 事務室長 坂根一生(兼務))	805-8512	北九州市八幡東区平野1丁目6の1	093-671-8919 (093-671-8920)
	九州共立大学 附属図書館 (館長 田中雄二, 図書情報課長 田中雄二(兼務))	807-8585	北九州市八幡西区自由ヶ丘1-8	093-693-3036 (093-603-2260)
	九州女子大学・短期大学 附属図書館 (館長 田中雄二, 図書情報課長 田中雄二(兼務))	807-8586	北九州市八幡西区自由ヶ丘1-1	093-693-3124 (093-603-0494)
	福岡工業大学 附属図書館 (館長 三田 肇, 事務次長 桑原雅浩)	811-0295	福岡市東区和白東3-30-1	092-606-0691 (092-606-7389)
	福岡女学院大学 図書館 (館長 岩下伸朗, 課長 城戸孝之)	811-1313	福岡市南区日佐3丁目42の1	092-575-6402 (092-575-4605)
	九州産業大学 図書館 (館長 大宅明美, 事務部長 宮丸由美子)	813-8503	福岡市東区松香台2丁目3の1	092-673-5382 (092-673-5999)
	福岡大学 図書館 (館長 永星浩一, 事務部長 井口紀子)	814-0180	福岡市城南区七隈8丁目19の1	092-871-6631 (092-865-3794)
	中村学園大学 メディアセンター(図書館) (センター長 新ヶ江登美夫, 部長 塚元富一郎)	814-0198	福岡市城南区別府5丁目7の1	092-851-2573 (092-841-7762)
	西南学院大学 図書館 (館長 北垣 徹, 事務部長 田中修一)	814-8511	福岡市早良区西新6丁目2の92	092-823-3426 (092-823-3480)
	純真学園大学 図書館 (館長 加藤亮二, 主任 山本哲也)	815-8510	福岡市南区筑紫丘1丁目1番1号	092-541-1527 (092-541-1542)
	第一薬科大学 図書館 (館長 増田寿伸, 主任司書 古沢恒平)	815-8511	福岡市南区玉川町22の1	092-541-0161 (092-542-5698)
	九州情報大学 附属図書館 (館長 丹羽崇之, 図書館司書 井上理恵子)	818-0117	太宰府市宰府6丁目3番1号	092-928-4000 (092-928-3200)
	筑紫女学院大学 附属図書館 (学術情報部長 時里奉明, 主査 笹渕美幸)	818-0192	太宰府市石坂2丁目12の1	092-925-9910 (092-925-3318)
	久留米工業大学 学術情報センター (館長 高橋雅仁, センター室長 小林敬二)	830-0052	久留米市上津町2228-66	0942-65-3480 (0942-22-2385)
	聖マリア学院大学 図書館 (館長 日高艶子, 司書 山口真由美)	830-8558	久留米市津福本町422	0942-37-1138 (0942-37-1138)
	久留米大学 附属図書館 (館長 高栢真一, 課長 岸川弘子)	839-8502	久留米市御井町1635	0942-44-4015 (0942-43-0348)
	保健医療経営大学 情報メディアセンター図書館 (センター長 林 勝裕, 図書係 古澤亜紀)	835-0018	みやま市瀬高町高柳960-5	0944-67-7007 (0944-63-3003)
	国際医療福祉大学 九州地区キャンパス図書館 (館長 原 富英, 事務主幹 福島正徳)	831-8501	大川市榎津137-1	0944-89-2143 (0944-86-6000)
西九州大学 附属図書館 (館長 溝田勝彦, 課長 姉川博幸)	842-8585	神崎市神崎町尾崎4490-9	0952-37-9299 (0952-53-7869)	
活水女子大学 図書館 (館長 安川 徹, 課長 奥村治輝)	850-8515	長崎市東山手町1-50	095-820-6028 (095-823-3701)	

	館名	郵便番号	所在地	電話番号 ()内はFAX番号	
私	長崎総合科学大学 附属図書館 (館長 ブライアン・F・パークガフニ, 図書課長 山川邦子)	851-0193	長崎市網場町536	095-838-5142 (095-838-2072)	
	長崎外国語大学 教育研究メディアセンター (センター長 野田雄史, マルチメディアライブラリー事務室長補佐 別所佐和子)	851-2196	長崎市横尾3-15-1	095-840-2005 (095-840-2205)	
	長崎純心大学 早坂記念図書館 (館長 浜口美由紀, 事務室長 岩崎由希子)	852-8558	長崎市三ツ山町235	095-846-0084 (095-845-4279)	
	長崎ウエスレヤン大学 附属図書館 (館長 菅原良子, 司書 植松久子)	854-0082	諫早市西栄田町1212-1	0957-26-8203 (0957-26-0244)	
	長崎国際大学 図書館 (館長 岸原健二, 図書課長 久保隆司)	859-3298	佐世保市ハウステンボス町2825-7	0956-20-5560 (0956-39-4894)	
	崇城大学 図書館 (館長 原島 俊, 課長 高吉夕香)	860-0082	熊本市西区池田4丁目22-1	096-326-3419 (096-359-3002)	
	九州ルーテル学院大学 図書館 (館長 緒方宏明, 学務・入試センター主任 西林佳夫)	860-8520	熊本市中央区黒髪3丁目12-16	096-343-1600 (096-343-0354)	
	熊本学園大学 付属図書館 (館長 林 裕, 図書情報課長 西 一幸)	862-8680	熊本市中央区大江2丁目5番1号	096-371-8047 (096-362-5967)	
	東海大学 付属図書館 九州図書館 (館長 伊藤是清)	862-8652	熊本市東区渡鹿9-1-1	096-386-2634 (096-386-2769)	
	熊本保健科学大学 附属図書館 (館長 飯山準一, 司書 山崎栄子)	861-5598	熊本市北区和泉町325	096-275-2264 (096-275-2265)	
	九州看護福祉大学 附属図書館 (館長 山本恵子, 図書課長 稲葉千恵子)	865-0062	玉名市富尾888	0968-75-1840 (0968-75-1873)	
	日本文理大学 図書館 (館長 福島 学)	870-0397	大分市大字一木1727	097-524-2711 (097-593-5166)	
	立命館アジア太平洋大学 ライブラリー (総合情報センター長 Khan Muhammad T, アカデミック・オフィス課長 山下啓祐)	874-8577	別府市十文字原1-1	0977-78-1140 (0977-78-1141)	
	別府大学 附属図書館 (館長 仲嶺真信, 事務次長 吉岡義信)	874-8501	別府市大字北石垣82	0977-66-9633 (0977-66-9632)	
	九州保健福祉大学 附属図書館 (館長 倉内紀子, 課長 伊藤倫子)	882-8508	延岡市吉野町1714-1	0982-23-5562 (0982-23-5560)	
	宮崎産業経営大学 附属図書館 (館長 大村昌弘, 課長 今川 威)	880-0931	宮崎市古城町丸尾100	0985-52-3205 (0985-50-4699)	
	南九州大学・南九州短期大学 図書館 (館長 柚木崎千春, 図書課長 赤木裕美)	880-0032	宮崎市霧島5-1-2	0985-83-3430 (0985-83-3431)	
	立	宮崎学園 図書館 (宮崎国際大学・宮崎学園短期大学) (館長 菅 邦男, 図書課長 小橋智子)	889-1605	宮崎市清武町加納丙1415	0985-85-1410 (0985-85-8189)
		鹿児島国際大学 附属図書館 (館長 村瀬士朗, 図書館次長 小林和代)	891-0197	鹿児島市坂之上8-34-1	099-263-0732 (099-261-1198)
		鹿児島純心女子大学 附属図書館 (館長 岡村和信, 図書課長 岩永眞佐子)	895-0011	薩摩川内市天辰町2365	0996-23-5311 (0996-23-5030)
志学館大学 図書館 (館長 近藤 諭, 課長代理 濱田みゆき)		890-8504	鹿児島市紫原一丁目59-1	099-812-8501 (099-257-0308)	
沖縄国際大学 図書館 (館長 上江洲 薫, 課長 當銘弘道)		901-2701	宜野湾市宜野湾2丁目6番1号	098-892-1111 (098-893-3274)	
沖縄大学 図書館 (館長 小野啓子, 事務長 糸数 晃)		902-8521	那覇市字国場555	098-832-5577 (098-834-1127)	
沖縄キリスト教学院大学 図書館 (館長 内間清晴, 主任 座波みゆき)		903-0207	沖縄県中頭郡西原町字翁長777	098-946-1236 (098-946-1237)	
沖縄科学技術大学院大学 図書館 (館長 ミリンダ・プロヒッタ, アシスタント・マネージャー 上原藤子)		904-0495	沖縄県国頭郡恩納村字茶谷1919-1	098-982-3769 (098-966-8817)	

	館名	郵便番号	所在地	電話番号 ()内はFAX番号
私立短大	九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学 図書館 (館長 大澤得二, 主任司書 八野 梓)	803-8511	北九州市小倉北区下到尾津5の1の1	093-561-3541 (093-592-6184)
	福岡女子短期大学 図書館 (館長 高橋敬一, 課長 大橋祐子)	818-0193	太宰府市五条4丁目16-1	092-922-3604 (092-922-3596)
	鹿児島女子短期大学 附属図書館 (館長 山元有一, 課長 南谷 久)	890-8565	鹿児島市高麗町6-9	099-254-9195 (099-254-5914)
	鹿児島純心女子短期大学 図書館 (館長 佐々木亘, 課長 西 真知子)	890-8525	鹿児島市唐湊4丁目22の1	099-253-2677 (099-254-5247)

九州地区大学図書館協議会役員館一覽

年次 (回次)	幹事館	監査館	表彰委員館			編集委員館
昭和48年度 (24)	九州大学	福岡女子短大	国 公 私	福岡教育大学 長崎国際経済大学 福岡大学	佐賀大学 長崎県立女子短大 西南学院大学	
昭和49年度 (25)	九州大学	福岡女子大学	国 公 私	九州工業大学 長崎国際経済大学 西南学院大学	九州芸術工科大学 長崎県立女子短大 福岡大学	
昭和50年度 (26)	九州大学	西南学院大学	国 公 私	佐賀大学 北九州大学 久留米大学	長崎大学 大分県立芸術短大 熊本商科大学	
昭和51年度 (27)	九州大学	九州産業大学	国 公 私	九州芸術工科大学 九州歯科大学 久留米大学	大分大学 長崎国際経済大学 西南学院大学	
昭和52年度 (28)	九州大学	福岡大学	国 公 私	福岡教育大学 福岡女子大学 西南学院大学	鹿児島大学 熊本女子大学 九州産業大学	
昭和53年度 (29)	九州大学	九州芸術工科大学	国 公 私	佐賀大学 長崎県立女子短大 西南学院大学	九州芸術工科大学 長崎国際経済大学 久留米大学	
昭和54年度 (30)	九州大学	九州産業大学	国 公 私	九州芸術工科大学 北九州大学 九州産業大学	佐賀大学 九州歯科大学 久留米大学	
昭和55年度 (31)	九州大学	福岡女子大学	国 公 私	宮崎大学 福岡社会保育短大 西南学院大学	九州工業大学 大分県立芸術短大 熊本商科大学	
昭和56年度 (32)	九州大学	西南学院大学	国 公 私	福岡教育大学 熊本女子大学 九州産業大学	熊本大学 鹿児島県立短大 福岡大学	
昭和57年度 (33)	九州大学	福岡大学	国 公 私	長崎大学 北九州大学 八幡大学	鹿児島大学 福岡女子大学 熊本商科大学	
昭和58年度 (34)	九州大学	九州芸術工科大学	国 公 私	琉球大学 福岡社会保育短大 鹿児島経済大学	宮崎医科大学 鹿児島県立短大 八幡大学	
昭和59年度 (35)	九州大学	福岡女子大学	国 公 私	佐賀医科大学 長崎国際経済大学 中村学園大学	大分医科大学 長崎県立女子短大 西日本工業大学	
昭和60年度 (36)	九州大学	中村学園大学	国 公 私	宮崎大学 熊本女子大学 鹿児島経済大	九州工業大学 大分県立芸術短大 西日本工業大学	
昭和61年度 (37)	九州大学	福岡女子短大	国 公 私	熊本大学 北九州大学 長崎総合科学大学	大分大学 福岡社会保育短大 第一薬科大学	
昭和62年度 (38)	九州大学	九州芸術工科大学	国 公 私	宮崎医科大学 福岡女子大学 九州東海大学	大分医科大学 九州歯科大学 沖縄国際大学	

年次 (回数)	幹事館	監査館	表彰委員館			編集委員館
昭和63年度 (39)	九州大学	福岡女子大学	国 公 私	佐賀医科大学 長崎国際経済大学 福岡大学	琉球大学 鹿児島県立短期大学 八幡大学	
平成元年度 (40)	九州大学	九州産業大学	国 公 私	九州芸術工科大学 長崎県立女子短期大学 西南学院大学	佐賀大学 熊本女子大学 中村学園大学	
平成2年度 (41)	九州大学	中村学園大学	国 公 私	福岡教育大学 北九州大学 九州産業大学	長崎大学 大分県立芸術文化短期大学 熊本商科大学	九州大学 大分医科大学 福岡女子大学 福岡大学 福岡女子短期大学
平成3年度 (42)	九州大学	福岡大学	国 公 私	九州工業大学 福岡県社会保育短期大学 久留米大学	鹿児島大学 長崎県立大学 西日本工業大学	九州大学 鹿屋体育大学 九州歯科大学 中村学園大学 筑紫女学園短期大学
平成4年度 (43)	九州大学	福岡女子短期大学	国 公 私	宮崎大学 福岡女子大学 鹿児島経済大学	大分大学 九州歯科大学 活水女子大学	九州大学 福岡教育大学 北九州大学 九州国際大学 東筑紫短期大学
平成5年度 (44)	九州大学	福岡女子大学	国 公 私	宮崎医科大学 熊本女子大学 活水女子大学	大分医科大学 鹿児島県立短期大学 鹿児島経済大学	九州大学 熊本大学 福岡女子大学 西南学院大学 筑紫女学園短期大学
平成6年度 (45)	九州大学	九州芸術工科大学	国 公 私	熊本大学 大分県立芸術文化短期大学 活水女子大学	佐賀医科大学 宮崎公立大学 鹿児島経済大学	九州大学 宮崎大学 福岡県立大学 九州産業大学 筑紫女学園短期大学
平成7年度 (46)	九州大学	九州産業大学	国 公 私	鹿屋体育大学 北九州大学 第一薬科大学	琉球大学 長崎県立大学 南九州大学	九州大学 九州工業大学 九州歯科大学 久留米大学 筑紫女学園短期大学
平成8年度 (47)	九州大学	西南学院大学	国 公 私	九州芸術工科大学 福岡女子大学 九州東海大学	佐賀大学 九州歯科大学 熊本学園大学	九州大学 大分大学 北九州大学 九州共立大学 西南女学院短期大学
平成9年度 (48)	九州大学	福岡教育大学	国 公 私	九州工業大学 熊本県立大学 九州女子大学	宮崎大学 鹿児島県立短期大学 久留米工業大学	九州大学 佐賀大学 九州歯科大学 福岡大学 西南女学院短期大学

年次 (回次)	幹事館	副 幹 事 館		監 査 館	表彰委員館	編集委員館
平成10年度 (49)	九州大学	国 公 私 私短	九州芸術工科大学 福岡女子大学 九州国際大学 中九州短期大学	中村学園大学	福岡教育大学 長崎大学 福岡県立大学 長崎県立女子短期大学 西日本工業大学 筑紫女学園大学	九州大学 佐賀医科大学 福岡女子大学 第一薬科大学 福岡国際大学・ 福岡女子短期大学
平成11年度 (50)	九州大学	国 公 私 私短	九州工業大学 大分県立芸術文化短期大学 鹿児島経済大学 沖縄キリスト教短期大学	福岡大学	鹿児島大学 大分県立芸術文化短期大学 別府大学 中九州短期大学	九州大学 佐賀大学 長崎大学 福岡県立大学 熊本工業大学 福岡国際大学・ 福岡女子短期大学
平成12年度 (51)	九州大学	国 公 私 私短	九州工業大学 大分県立芸術文化短期大学 鹿児島国際大学 沖縄キリスト教短期大学	福岡女子大学	大分大学 宮崎県立大学 宮崎国際大学 中九州短期大学	九州大学 沖縄国際大学 宮崎医科大学 北九州大学 西南女学院大学 福岡国際大学・ 福岡女子短期大学
平成13年度 (52)	九州大学	国 公 私 私短	福岡教育大学 宮崎公立大学 福岡工業大学 九州大谷短期大学	福岡教育大学	宮崎医科大学 北九州市立大学 筑紫女学園大学 沖縄キリスト教短期大学	鹿児島大学 九州歯科大学 西九州大学 活水女子短期大学 九州大学 九州女子大学
平成14年度 (53)	九州大学	国 公 私 私短	福岡教育大学 宮崎公立大学 福岡工業大学 九州大谷短期大学	福岡工業大学	大分医科大学 熊本県立大学 九州情報大学 九州大谷短期大学	琉球大学 福岡県立大学 鹿児島純心女子大学 活水女子短期大学 九州大学 大分大学
平成15年度 (54)	九州大学	国 公 私 私短	佐賀大学 北九州市立大学 九州共立大学 筑紫女学園大学・短期大学	筑紫女学園大学・短期大学	鹿屋体育大学 宮崎県立看護大学 九州ルーテル学院大学 筑紫女学園大学・短期大学	九州工業大学 福岡女子大学 九州看護福祉大学 西南女学院大学・短期大学 九州大学 宮崎大学
平成16年度 (55)	九州大学	国 公 私 私短	佐賀大学 北九州市立大学 九州共立大学 筑紫女学園大学・短期大学	西南学院大学	熊本大学 福岡女子大学 志学館大学 東九州女子短期大学	福岡教育大学 九州歯科大学 南九州大学・南九州短期大学 西南女学院大学・短期大学
平成17年度 (56)	九州大学	国 公 私 私短	長崎大学 熊本県立大学 九州東海大学 鹿児島純心女子短期大学	九州産業大学	琉球大学 沖縄県立看護大学 西南女学院大学 鹿児島純心女子短期大学	熊本大学 北九州市立大学 西日本工業大学 鹿児島純心女子短期大学
平成18年度 (57)	九州大学	国 公 私 私短	長崎大学 熊本県立大学 九州東海大学 鹿児島純心女子短期大学	福岡国際大学・ 福岡女子短期大学	佐賀大学 鹿児島県立短期大学 福岡女学院大学 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学	鹿屋体育大学 福岡県立大学 筑紫女学園大学・短期大学 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学
平成19年度 (58)	九州大学	国 公 私 私短	熊本大学 宮崎県立看護大学 福岡大学 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学	中村学園大学	九州工業大学 九州歯科大学 久留米工業大学 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学	福岡教育大学 福岡女子大学 九州女子大学・短期大学 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学

年次 (回次)	幹事館	副幹事館		監査館	表彰委員館	編集委員館
平成20年度 (59)	九州大学	国 公 私 短	熊本大学 宮崎県立看護大学 福岡大学 <small>九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学</small>	福岡教育大学	宮崎大学 大分県立看護科学大学 別府大学 <small>九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学</small>	長崎大学 九州歯科大学 鹿児島国際大学 <small>九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学</small>
平成21年度 (60)	九州大学	国 公 私 短	大分大学 福岡県立大学 九州産業大学 九州大谷短期大学	福岡女子大学	福岡教育大学 宮崎公立大学 福岡国際大学・福岡女子短期大学 鹿児島女子短期大学	鹿児島大学 北九州市立大学 西南女学院大学 中九州短期大学
平成22年度 (61)	九州大学	国 公 私 短	大分大学 福岡県立大学 九州産業大学 九州大谷短期大学	福岡大学	長崎大学 福岡女子大学 鹿児島純心女子大学 鹿児島女子短期大学	九州工業大学 <small>北九州学術研究都市学術情報センター</small> 活水女子大学 <small>九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学</small>
平成23年度 (62)	九州大学	国 公 私 短	宮崎大学 長崎県立大学 熊本学園大学 <small>九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学</small>	福岡工業大学	鹿児島大学 大分県立芸術文化短期大学 福岡女学院大学 <small>九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学</small>	佐賀大学 福岡県立大学 九州国際大学 九州大谷短期大学
平成24年度 (63)	九州大学	国 公 私 短	宮崎大学 長崎県立大学 熊本学園大学 <small>九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学</small>	筑紫女学園大学・短期大学	大分大学 沖縄県立看護大学 九州東海大学 九州大谷短期大学	琉球大学 福岡女子大学 沖縄国際大学 鹿児島女子短期大学
平成25年度 (64)	九州大学	国 公 私 短	鹿児島大学 鹿児島県立短期大学 久留米大学 鹿児島女子短期大学	西南学院大学	鹿屋体育大学 北九州市立大学 九州共立大学 鹿児島純心女子短期大学	宮崎大学 九州歯科大学 聖マリア学院大学 鹿児島純心女子短期大学
平成26年度 (65)	九州大学	国 公 私 短	鹿児島大学 鹿児島県立短期大学 久留米大学 鹿児島女子短期大学	九州産業大学	熊本大学 熊本県立大学 九州保健福祉大学 東九州短期大学	大分大学 北九州市立大学 西九州大学 東九州短期大学
平成27年度 (66)	九州大学	国 公 私 短	鹿屋体育大学 九州歯科大学 沖縄国際大学 鹿児島純心女子短期大学	中村学園大学	琉球大学 鹿児島県立短期大学 九州情報大学 福岡国際大学・ 福岡女子短期大学	熊本大学 北九州学術研究都市学術情報センター 西日本工業大学 福岡国際大学・ 福岡女子短期大学
平成28年度 (67)	九州大学	国 公 私 短	鹿屋体育大学 九州歯科大学 沖縄国際大学 鹿児島純心女子短期大学	福岡教育大学	佐賀大学 北九州学術研究都市学術情報センター 長崎総合科学大学 鹿児島女子短期大学	福岡教育大学 福岡女子大学 沖縄キリスト教 学院大学 鹿児島女子短期大学
平成29年度 (68)	九州大学	国 公 私 短	琉球大学 大分県立看護科学大学 九州国際大学 <small>九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学</small>	福岡女子大学	九州工業大学 長崎県立大学 西日本工業大学 <small>九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学</small>	鹿屋体育大学 福岡県立大学 九州情報大学 <small>九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学</small>
平成30年度 (69)	九州大学	国 公 私 短	琉球大学 大分県立看護科学大学 九州国際大学 <small>九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学</small>	福岡大学	宮崎大学 宮崎県立看護大学 沖縄科学技術大学院大学 鹿児島純心女子短期大学	長崎大学 九州歯科大学 熊本保健科学大学 鹿児島純心女子短期大学
平成31年度 (令和元年度) (70)	九州大学	国 公 私 短	佐賀大学 宮崎公立大学 福岡工業大学 福岡女子短期大学	福岡工業大学	福岡教育大学 福岡県立大学 純真学園大学 福岡女子短期大学	鹿児島大学 北九州市立大学 西南女学院大学 福岡女子短期大学
令和2年度 (71)	九州大学	国 公 私 短				

九州地区大学図書館協議会総会当番館一覧

回次	年度	県別	大 学
1	25	福岡	九州大 学
2	26	熊本	熊本大 学
3	27	長崎	長崎大 学
4	28	佐賀	佐賀大 学
5	29	鹿児島	鹿児島大 学
6	30	宮崎	宮崎大 学
7	31	大分	大分大 学
8	32	福岡	西南学 院大 学
9	33	福岡	九州大 学
10	34	熊本	熊本大 学
11	35	福岡	九州工 業大 学
12	36	長崎	長崎大 学
13	37	福岡	福岡大 学
14	38	佐賀	佐賀大 学
15	39	福岡	福岡教 育大 学
16	40	宮崎	宮崎大 学
17	41	福岡	八幡大 学
18	42	鹿児島	鹿児島大 学
19	43	福岡	九州大 学
20	44	熊本	熊本商 科大 学
21	45	福岡	久留米 大 学
22	46	大分	大分大 学
23	47	福岡	北九州 大 学
24	48	長崎	長崎大 学
25	49	福岡	九州産 業大 学
26	50	佐賀	佐賀大 学
		"	佐賀龍 谷短 期大 学
27	51	沖縄	琉球大 学
28	52	福岡	九州大 学
29	53	大分	大分大 学
30	54	宮崎	宮崎大 学
31	55	福岡	九州歯 科大 学
		"	福岡女 子大 学
		"	福岡県 社会保 険短 期大 学
32	56	熊本	熊本女 子大 学
33	57	鹿児島	鹿児島 大 学
		"	鹿児島 県立 短期 大 学
		"	鹿児島 経済 大 学

回次	年度	県別	大 学
34	58	福岡	西日本 工業大 学
35	59	長崎	長崎大 学
36	60	宮崎	宮崎医 科大 学
		大分	大分県 立芸 術短 期大 学
		宮崎	南九州 大 学
		長崎	純心女 子短 期大 学
37	61	福岡	九州芸 術工 科大 学
38	62	佐賀	佐賀医 科大 学
39	63	沖縄	琉球大 学
40	平成元	福岡	北九州 大 学
41	2	大分	大分医 科大 学
42	3	鹿児島	鹿屋体 育大 学
43	4	福岡	西南学 院大 学
44	5	熊本	九州東 海大 学
45	6	宮崎	宮崎産 業経 営大 学
46	7	福岡	九州工 業大 学
47	8	長崎	長崎大 学
48	9	鹿児島	鹿児島 経済 大 学
49	10	福岡	福岡女 子大 学
50	11	佐賀	佐賀大 学
51	12	沖縄	沖縄国 際大 学
52	13	福岡	九州女 子大 学
53	14	大分	大分大 学
54	15	宮崎	宮崎大 学
55	16	福岡	福岡教 育大 学
56	17	熊本	熊本大 学
57	18	鹿児島	鹿屋体 育大 学
58	19	福岡	九州大 学
59	20	長崎	長崎大 学
60	21	沖縄	琉球大 学
61	22	福岡	福岡県 立大 学
		"	九州歯 科大 学
		"	北九州 学術研 究都市 (学術情 報セン ター)
62	23	佐賀	佐賀大 学
63	24	鹿児島	鹿児島 大 学
64	25	福岡	福岡教 育大 学
65	26	大分	大分大 学学 術情 報拠 点
66	27	宮崎	宮崎大 学

回次	年度	県別	大 学
67	28	福 岡	九 州 大 学
68	29	長 崎	長 崎 大 学
69	30	鹿 児 島	鹿 屋 体 育 大 学
70	31	福 岡	九 州 工 業 大 学
71	令和2	熊 本	熊 本 大 学
72	3		

ソフェルは 図書館 UHF帯ICタグ関連機器の トップシェアメーカーです。

2009年に日本で初めてUHF帯ICタグ及びIC機器を納入して以降、これまでのICタグよりもUHF帯ICタグの性能が図書館での実運用に適していると認知されてきました。

何よりも弊社の豊富な経験・知識に基づいた技術力や販売サポート体制はお客様よりご評価いただいております。

今後も国内トップシェアメーカーとして、利用しやすい快適な図書館運営へ貢献してまいります。

図書館システムにおける
UHF帯ICタグ関連機器シェア



納入実績一覧

(一部。順不同)

◆ 公共図書館

高知県立・高知市立市民図書館
東京都千代田区立千代田図書館
新潟県長岡市立図書館
大阪府茨木市立図書館
大阪府吹田市立図書館
茨城県北茨城市立図書館
栃木県小山市立図書館
兵庫県明石市立図書館
群馬県太田市美術館・図書館
京都府立京都学・歴史館
宮崎県都城市立図書館
東京都世田谷区立図書館（稼働準備中）

◆ 国公立大学図書館

東京大学 ラーニングcommons
新潟大学
横浜国立大学
一橋大学 国際・公共政策大学院
総合研究大学院大学
神戸市看護大学
三重県立看護大学
高知工科大学
高知県立大学
奈良県立医科大学
京都府立大学
京都府立医科大学



◆ 私立大学図書館

立命館大学 平井嘉一郎記念図書館
立命館大学 大阪いばらきキャンパス
近畿大学 アカデミックシアター
京都女子大学
大阪工業大学 梅田キャンパス
創価大学
帝京大学 八王子本館・医学総合・福岡
東京理科大学 葛飾キャンパス
東京医科大学
東京経済大学
武蔵野音楽大学
津田塾大学
多摩美術大学
国際医療福祉大学 成田キャンパス
新潟青陵大学
佐久大学
明星大学

● 図書館用品全般

販売店

L・キスト(エルキスト)

代表者 井上 國光

〒814-0162

福岡市早良区星の原団地 20-403

TEL 092-863-0128 FAX 092-863-0127

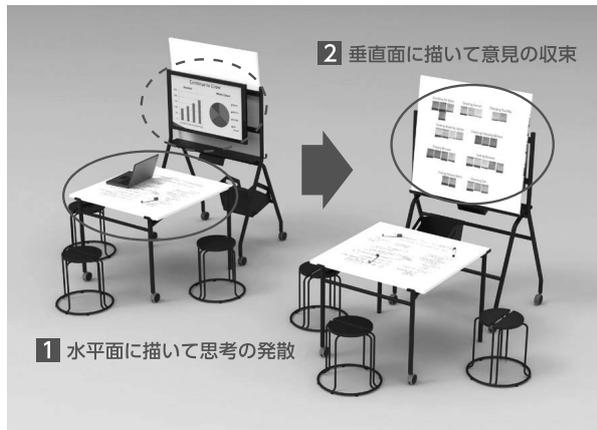
E-MAIL l.kist@indigo.plala.or.jp

<http://www.l-kist.com/>

ITOKI

明日の「働く」を、デザインする。
We Design Tomorrow. We Design WORK-Style.

デジタルとアナログをシームレスに繋ぐ
学生の主体的な学びを支えるフレームワーク



ACTICT アクティクト

アクティブ・ラーニングの授業や、ラーニング・コモンズでの
学生の主体的な学びにおいて、
【思考の発散】→【意見の収束】のシーンを支えます。

株式会社イトーキ

福岡支店 福岡市博多区呉服町10-10 呉服町ビジネスセンター〒812-0036 Tel.092-281-4061 お客様相談センター ☎0120-164177 URL <https://www.itoki.jp/>

図書館情報システム NALIS

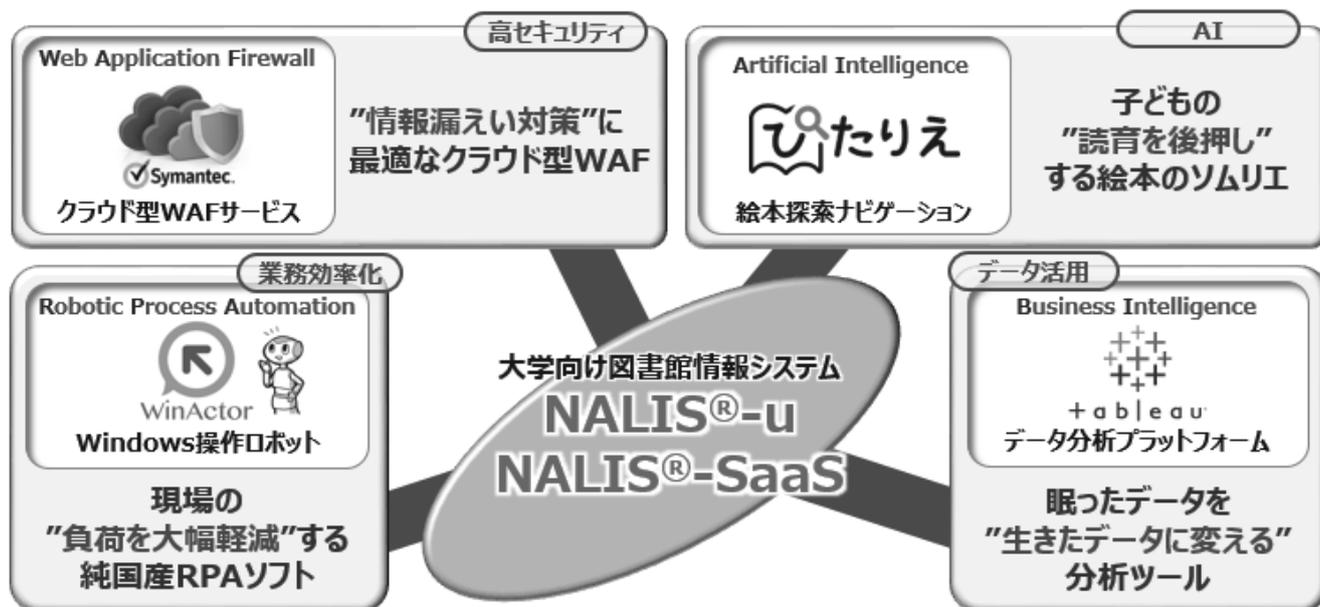
～クラウド型サービス、先進の周辺ソリューションを提供～

株式会社 NTT データ九州

図書館情報システム NALIS は、『堅牢なデータセンタ』、『安全なネットワーク』、『高度なセキュリティ』を柱としたクラウド型サービスを提供します。



また、先進の周辺ソリューションにより、図書館に新たな付加価値をご提供します。



NTT Data
Trusted Global Innovator

【お問い合わせ先】 株式会社 NTT データ九州
社会基盤事業部 ソフトウェアビジネス統括部
電話 : 092-475-5145
Email : nalis@nttdata-kyushu.co.jp



図書館員向け研究データ管理トレーニング

RDMLA
RESEARCH DATA MANAGEMENT LIBRARIAN ACADEMY

プログラム

1. RDMの基礎
2. 研究データカルチャ
3. 図書館におけるRDMの価値の提唱とマーケティング
4. 図書館でのデータサービスの立ち上げ
5. プロジェクト管理&評価
6. データ分析と可視化ツールの概要
7. コーディング・ツールの概要
8. プラットフォーム・ツールの概要

RDMLAは、研究データ管理（RDM）のベストプラクティスを探る無料のオンライン教育プログラムです。広範な知識/技能を共有し、研究データサービスを促進したい図書館員と図書館情報学（LIS）教員のチームによって開発されたRDMLAは、個別に、または完全なプログラムとして取得することができる8つのユニットから成ります。すべてのユニットはグローバルに利用できます。RDMLAは、図書館員、LIS教育者、情報分析会社（スポンサー）の間のユニークなパートナーシップによって作られました。

*パートナー機関は、Harvard Medical School, Harvard Library, Simmons University, Boston University, Brown University, Massachusetts, College of Pharmacy and Health Sciences, Northeastern University, Tufts University, Elsevier

RDMLAプログラムは、無料です。



さあ、すぐに登録をして、始めましょう。

<http://bit.ly/2KzumYt>

詳細な情報は、こちらから

<https://rdmla.github.io/>

RDMLAは、世界中の研究集約的な環境で働く図書館員、情報専門家、その他の専門家向けのコースです。加えて研究者も歓迎しますし、研究データ管理について興味のある人も歓迎します。オンライン・ユニットは自律型で非同期であるため、学習者は最も都合のよい時間とペースでユニットを学習できます。Canvas学習管理システムを介してオンラインでアクセスできます。



エルゼビア・ジャパン株式会社

リサーチソリューションズ

〒106-0044 東京都港区東麻布1-9-15 東麻布1丁目ビル4階

TEL : 03-5561-5035 jp.pr@elsevier.com www.elsevier.com/ja-jp

ElsevierおよびScopusは、Elsevier B.V. RELXグループの登録商標であり、REシンボルは、使用許諾に基づき使用されている RELX Intellectual Properties SAの商標です。© 2019 Elsevier B.V.

2019年11月

空間をデザインする



Library
図書館



Museum
文化施設



Hospital
病院



Office
オフィス



School·
Laboratory
学校・研究所



Warehouse
物流倉庫



 **金剛株式会社**

www.kongo-corp.co.jp

熊本本社 / 熊本市西区上熊本 3 丁目 8-1

福岡支社 / 福岡市博多区博多駅前 2 丁目 20-15 第 7 岡部ビル 9F

北九州支店 / 北九州市戸畑区浅生 3 丁目 16-23

支店・営業所 / 仙台・東京・静岡・名古屋・金沢・大阪・岡山・広島・高松・北九州・福岡・大分・佐賀・長崎・熊本・八代・天草・宮崎・鹿児島・沖縄・台湾

TEL (096)355-1111 (代)

TEL (092)433-3988

TEL (093)872-9811

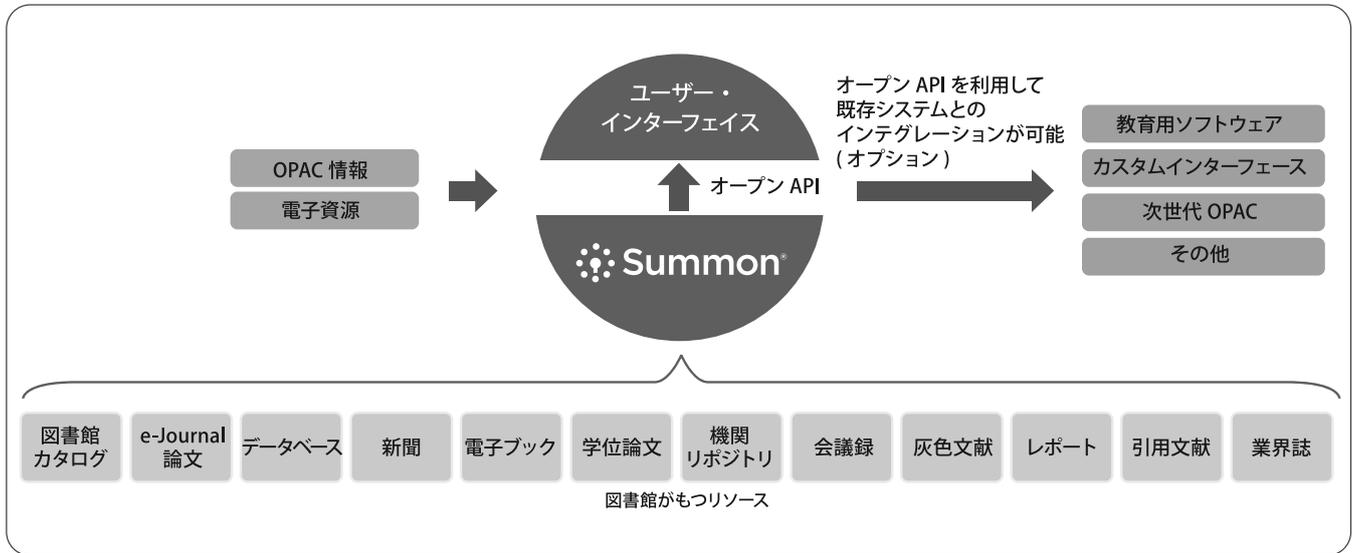




これまで見つけることが困難だった資料でも たった1つの検索窓から瞬時に見つけられます！

Summon は統合検索や次世代 OPAC を越える全く新しい検索サービスです。シンプルなインターフェイスから図書館独自の広範囲で信頼性の高い情報へすばやくアクセスすることができます。

図書館の所蔵資料や契約データベース・電子ジャーナル、機関リポジトリ、オープンアクセス誌といった図書館で利用できるすべてのリソースのメタデータをあらかじめハーベスティングさせる手法でこれまでにない検索スピードを実現しました。



POINT 1

すべてのリソースを一度に検索

すべてのリソースをたったひとつの検索窓から見つけることができます。現在のインターネットユーザーのニーズを満たす新しい学術情報の検索スタイルを提供します。

POINT 2

信頼のおけるコンテンツだけを検索

検索対象はすべて図書館のコンテンツです。信頼性が高く、しかも入手可能なコンテンツにのみアクセスすることができます。

POINT 3

瞬時に検索結果を表示

図書館で利用できるすべてのリソースのメタデータをあらかじめハーベスティングさせるので、Google などの検索スピードを実現します。



図書館システムと連携して 所蔵・貸出情報を リアルタイムで表示

冊子の検索結果には現在の貸出し状況や保管場所が表示されます。検索結果をクリックすると図書館 OPAC のライブリンクになっています。

availability: 貸出中, 中央図書館所蔵

SaaS 型サービスなので 導入・メンテナンスの 手間がかかりません

Software as a Service(SaaS) で提供されるため、サーバーの設置やアップデート、メンテナンスといった作業に人員を割く必要はありません。常に最新で最適な状態でサービスを利用することができます。

目的の資料への確にナビゲートします

ファセット機能によりフォーマット、主題、出版年などによる絞り込み検索を効率的に実行できます。また、360Link などのリンクリゾルバと連携して該当の資料に確実にたどり着くことができます。

360 360 LINK

Content Solutions Company **SUNMEDIA 株式会社サンメディア e-Port カンパニー** e-mail: e-port@sunmedia.co.jp

本社 〒164-0012 東京都中野区本町 3-10-3 PORT ビル
Tel: 03-3299-1575 Fax: 03-3374-1410

大阪オフィス 〒550-0003 大阪市西区京町堀 1-3-3 肥後橋パークビル 4F
Tel: 06-6444-7720 Fax: 06-6444-7730

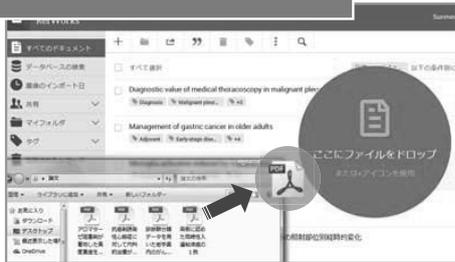


学術情報・研究成果の収集と管理、共有、情報発信を支援するウェブサービス
 RefWorksは電子リソースや Web ページから収集した学術情報を蓄積・管理し、それらを論文執筆に活用し、共有・発信するためのウェブサービスです。研究者、教職員、学生、図書館員などあらゆる利用者層のニーズに対応し、研究情報基盤強化のインフラ、学生の情報リテラシー習得の一環としてご利用いただけます。

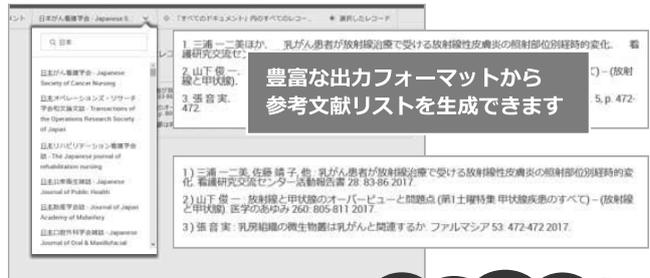
より使いやすくなった 新 RefWorks

ドラッグ & ドロップで簡単に取り込み

PDF ファイルをドラッグ&ドロップ
 するだけで本文と書誌を取り込みます



豊富な出力フォーマット



豊富な出力フォーマットから
 参考文献リストを生成できます

フォーマットリストに無いものは
 作成可能です。サンメディアまで
 ご依頼ください。

Web サイトの情報を取り込む “Save to RefWorks”

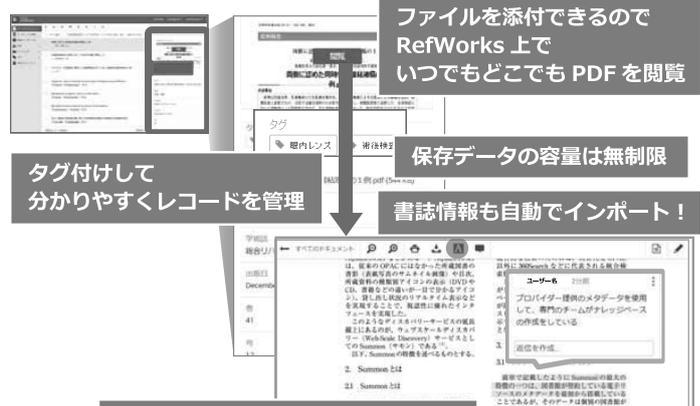


お気に入りに登録した “Save to RefWorks” を
 クリックすると Web サイトの情報を取り込みます

日本語データも取り込みます

取り込み時に書誌情報を
 編集できます

さらに便利になったインターフェイス



ファイルを添付できるので
 RefWorks 上で
 いつでもどこでも PDF を閲覧

タグ付けて
 分かりやすくレコードを管理

保存データの容量は無制限

書誌情報も自動でインポート!

インポートした PDF ファイルに
 マーカーやコメントを追加できます

RefWorks Citation Manager



Word の画面で引用記号・参考文献
 リストをワンクリックで挿入できます

大好評! RefWorks 講習会を開催します

RefWorks の利用方法を分かりやすく解説する講習会を開催します。
 サンメディアまでご連絡ください。

こんな便利なツールがある
 なんて早く知りたかった。
 みんなにも伝えたい。

分かりやすい説明だった。
 今後も使っていきたい。

実際の画面を見て操作しながら
 教えてもらえるのがよかった

非常に便利で、今までの
 レポート作成は何だったの
 かと思うレベル。

※実際に講習会で実施したアンケートより抜粋

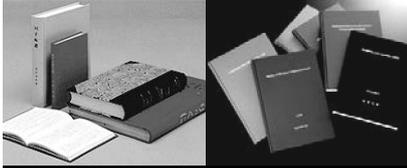


株式会社サンメディア e-Port カンパニー e-mail : event@sunmedia.co.jp

本社 〒164-0012 東京都中野区本町 3-10-3 PORT ビル 大阪オフィス 〒550-0003 大阪市西区京町堀 1-3-3 肥後橋パークビル 4F
 Tel : 03-3299-1575 Fax : 03-3374-1410 Tel : 06-6444-7720 Fax : 06-6444-7730

図書館サービスのご案内 LIBRARY SOLUTION SERVICE

ソフト・ハードの両面から図書館を支える「ワンストップサービス」をご提供します。



図書館製本

創業以来培ってきた豊富なノウハウと高い技術力で、さまざまな製本に小ロットから大量発注まで柔軟に対応します。

- 雑誌合冊製本
- 新聞製本
- 論文製本
- 書類製本
- 簡易製本
- カルテ製本
- リーフレット製本
- 図書修理製本・再製本
- 和綴じ



資料保存

さまざまな資料の長期保存と活用のため、劣化・保存状況、目的やご要望に合わせて、適切な保存処置や環境整備をご提案します。

- 洋装本の修理・修復
- 裏打ち・すきはめ (リーフキャストイング)
- 軸装・額装の再仕立て
- 脱酸性化処理
- エンキャプスレーション
- 帙・四方帙の作製
- 中性紙保存箱の作製
- 環境調査
- 燻蒸・書籍クリーニング



デジタル・ソリューション

電子化・電子書籍の制作から、Web 公開用のシステム・ホームページの構築まで、資料の有効活用をサポートします。

- 画像データ化
- 大判スキャニング
- フィルムスキャニング
- 既存データの変換
- テキストデータ入力
- 閲覧・公開システム・ホームページの構築
- 機関リポジトリ構築支援
- 電子書籍の制作



図書館運営サービス

部分的な業務から図書館全体の管理・運営まで、図書館のパートナーとして業務の効率化、サービスの向上に取り組みます。

- 図書・雑誌の受入・整理
- 製本準備・受入
- 装備
- 未整理資料の一括整理
- 閲覧・カウンター業務
- 蔵書点検
- 書籍移動・配架シミュレーション・書籍保管
- 図書館運営、指定管理



システム&サプライ

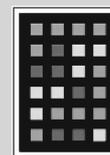
図書館の運用に欠かせないシステムやアイテムを数多く取り揃えています。

- 図書館システム
- IC システム・IC タグ
- 自動貸出装置、無断持出し防止装置
- 磁気テープ
- 書架、整理・収納用品
- 展示用品、保存用品
- 図書館空間デザイン
- ラベル・カード作成
- オンデマンド印刷



カメレオンコード

低コストで一括認識ができるカラー・コード (カメレオンコード) を活用した、効率的な蔵書管理ソリューションをご提案しています。



カメレオンコード

- N-CLASS 蔵書点検・所在管理システム
- 各種図書館システム連携

<カメレオンコード> は株式会社シフトの登録商標です。

ナカバヤシ株式会社 図書館ソリューション営業部

福岡支店 〒812-0051 福岡市東区箱崎ふ頭 5 丁目 7 番 11 号

TEL 092(641)3661 FAX 092(641)3699

HP:<https://www.nakabayashi.co.jp/> MAIL:toshokan@nakabayashi.co.jp





Maruzen eBook Library
岩波書店「現代人の教養」
 サブスクリプションパッケージ

2020年4月
 リース!
 ご予約受付中!!



岩波
文庫



岩波
新書



岩波
**現代
 文庫**



岩波
**シオア
 新書**



岩波
**科学
 ラッカ**



岩波
**少年
 文庫**

※少年文庫は今後追加予定です。

現代社会に必須の教養を養う、
 古今東西の名著が勢ぞろい!
 学生用図書として、学習や研究の入門書として、
 500冊の中からプランに合わせて
 50・100・200・300・400・500冊を
 自由に選書していただけます!

『図書館長が選ぶ学生に読ませたい新書50選』など
 毎年自由に選べて、学生用図書に最適です!
 更新時にタイトルの入れ替えも自由!

1年間ご契約プラン	同時1アクセス(本体)	同時3アクセス(本体)
Aパッケージ(50冊)	¥77,000	¥115,500
Bパッケージ(100冊)	¥132,000	¥198,000
Cパッケージ(200冊)	¥220,000	¥330,000
Dパッケージ(300冊)	¥286,000	¥429,000
Eパッケージ(400冊)	¥330,000	¥495,000
Fパッケージ(500冊)	¥385,000	¥577,500

※一部タイトルはPDF型での配信となります。
 詳細はリストをご請求ください。

M MARUZEN-YUSHODO

丸善雄松堂株式会社学術情報ソリューション事業部 Maruzen eBook Library 担当
 Tel : 03-6367-6008 Fax:03-6367-6184 e-mail:ebook-i@maruzen.co.jp
 営業時間 : 9 : 00 ~ 17 : 30 (土・日・祝日、年末年始を除く)



株式会社紀伊國屋書店 九州営業部
 福岡営業所 TEL 092-437-5353 〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1-3-11 KDX博多南ビル6F
 熊本営業所 TEL 096-322-5666 〒860-0806 熊本市中央区花畑町4-1 太陽生命熊本第2ビル2F
 鹿児島営業所 TEL 099-223-4519 〒892-0847 鹿児島市西千石町17-3 太陽生命鹿児島第2ビル8F
 沖縄営業所 TEL 098-887-3678 〒903-0804 那覇市首里石嶺町4-99-1 まるしんビル
 【本社】電子書籍営業部 TEL 03-5719-2501 e-mail ict_ebook@kinokuniya.co.jp

KinoDenアプリ bREADER Cloud
 図書館の電子書籍の利活用に新たな可能性を!



bREADER Cloud

KinoDen 画面・アプリイメージ

- ✓iOS, Androidデバイス向け
- ✓マイ本棚(クラウド同期)
- ✓本棚内横断検索
- ✓1冊全部ダウンロード
- ✓しおり
- ✓マーカー
- ✓テキストメモ
- ✓PDFファイル等のアップロード



KinoDen(キノデン)は、紀伊國屋書店がご提供する学術和書電子図書館サービスです。

ジュンク堂書店

淳久堂書店

お店で選書ツアーができます

各階専門書・地下一階に1万5000冊の洋書売場も充実！
B1～4階フロア・140万冊の店舗で選書が可能です(要予約)

丸善ジュンク堂書店 外商部 福岡営業所

お問い合わせ先 E-mail fk-gai@junkudo.co.jp
福岡市中央区天神 1-10-13 天神 MMT ビル
電話・092-738-3405 FAX・092-717-7321

広げます あなたの未来

政府刊行物

探したい本はここで見つかる。
政府刊行物のホームページ
<http://www.gov-book.or.jp/>

政府刊行物サービス・ステーション

天神:福岡市中央区天神 4-5-10(チサン天神 1F) 市役所:福岡市中央区天神 1-8-1(福岡市役所 B1F)
TEL(092)721-4846 TEL(092)722-4861
県庁:福岡市博多区東公園 7-7(福岡県庁 B1F)
TEL(092)641-7838

政府刊行物普及株式会社・福岡県官報販売所
〒810-0001福岡市中央区天神 4-5-17
TEL(092)761-1151 FAX(092)751-0385

STACK RUNNER®
制震 ハンドル式スタックランナー

強固なラック仕様と快適な操作性に加え利用者に対する安全性をさらに強化しました。

利用者の安全を第一に考えた地震対策「制震機能」付

適度なブレーキ力が働き、棚の暴走と転倒を防止して通路を確保

よりよい保管システムを提供する

日本ファイリング

日本ファイリング株式会社
 本社 / 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-2
 支店 / 大阪・名古屋 営業所 / 札幌・仙台・広島・福岡

ISO14001
 ISO9001
 認証取得企業

お申込み・お問い合わせ
<https://www.nipponfiling.co.jp>

importer of academic publications & software

福岡海外株式会社

【会社概要 Company Profile】

学術書籍・ジャーナルバックナンバー・電子ジャーナル・電子書籍・データベース販売

Import and sales of academic foreign books, journals (including electronic journals and back numbers), CD-ROMs and data bases

主な仕入先の出版社 / Main Publishers Distributed

Springer / Elsevier / John Wiley & Sons / Cambridge University Press / Oxford

University Press / Taylor & Francis and more..

〒818-0001 福岡市中央区天神 4 丁目 1 番 18 号

電話 092-741-2685 / FAX 092-741-8418

E-mail: fkaigai@lime.ocn.ne.jp

<http://fukuoka-kaigai.jimdo.com/>

おかげさまで、ミドリ印刷は 創業52周年を迎えました

弊社では創業時より、企業理念に基づいて
CSR・環境配慮に取り組んでいます。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

ミドリ印刷は、SDGs
(持続可能な開発目標)
に取り組んでいます。

新素材

「LIMEX(ライメックス)シート」
製品を販売しています!

LIMEX

LIMEX(ライメックス)とは、石灰石を主原料とする環境に配慮した新素材です。



株式会社 **ミドリ印刷**

www.midori-p.com

本社
(グループ本部) 〒812-0016 福岡市博多区博多駅南6丁目17番12号
TEL 092-292-0300 FAX 092-483-9089

営業部
(工場部) 〒812-0857 福岡市博多区西月隈1丁目2番11号
TEL 092-441-6747 FAX 092-473-1275



MIDORI GROUP

川本印刷株式会社 (株)プリンティング福岡 デジタルプリントピーコム・1 / SEJ事業部

九州地区大学図書館協議会誌 第62号

令和2年2月発行

発行 福岡市西区元岡744 九州大学附属図書館内
九州地区大学図書館協議会

T E L (092) 802 - 2470

F A X (092) 802 - 2474

<http://www.lib.kyushu-u.ac.jp/qkyogikai/>

